

第二十二回帝國議會
衆議院

鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治三十九年三月十五日午前九時三十四分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場 純孝君	大岡 育造君	山本 幸彦君
恆松 隆慶君	北村 左吉君	大野 久次君
牧野 元君	柳田 藤吉君	新井 章吾君
野田 卯太郎君	中倉 万次郎君	渡邊 修君
奧野 市次郎君	後藤 文一郎君	竹越 與三郎君
長 晴登君	高橋 安爾君	加藤 政之助君
武富 時敏君	根津 嘉一郎君	金岡 又左衛門君
鈴木 久次郎君	西村 丹次郎君	坂口 仁一郎君
村松 龜一郎君	井上 要君	西村 眞太郎君
大戸 復三郎君	藻寄 鉄五郎君	雄倉 茂次郎君
南條吉左衛門君	岡田 治衛武君	服部 小十郎君
安達 謙藏君	石塚 重平君	久保 伊一郎君
松本 恆之助君	淺野 陽吉君	菊池 武德君
早速 整爾君	大繩 久雄君	小田 貫一君
石田 貫之助君	板東 勘五郎君	

出席國務大臣左ノ如シ

陸軍大臣 寺内 正毅君	內務大臣 原 敬君
大藏大臣 法學博士 阪谷 芳郎君	司法大臣 松田 正久君
農商務大臣 松岡 康毅君	逓信大臣 山縣伊三郎君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 仲小路 廉君	鐵道作業局長 平井晴二郎君
逓信省鐵道局長 山之内 一夫君	官工學博士

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ前日ニ引續イテ、鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案ノ委員會ヲ開キマス、昨日御約束申上ゲタ通、今日ハ此法案ノ討議ニ掛ラウト思ヒマスガ、併ナガラ京釜鐵道ノ參考書ヲ昨日マデハ回付サレヌカラ、京釜鐵道ニ關スル質問ハ、本日ニ移スト云フコトニ御相談ニナツテ居リマス、先ヅ京釜鐵道ニ付イテノ御質問ガゴザイマスナラバ、其大體ノ質問ダケヲヤリマシテ、直チニ討議ニ掛ラウト思ヒマス。京釜鐵道買入法案ニ付イテノ御質問ガゴザイマス。○井上君 此京釜鐵道ノコトニ付イテ御尋ラシタイデスガ、此現在京釜鐵道ノ計

畫設計中ニナツテ居リマス、草梁釜山間ノ延長ト云フヤウナモノハ、政府ガ買收ヲ致シマスレバ、買收シタ後ニ於テモ、建設ハ是非シナケレバナラヌト考ヘル、草梁カラ釜山ノ方ヘ、京釜鐵道ヲ延ベテ、サウシテ釜山ノ海陸連絡ヲ完ウスルコトハ、若シ政府ガ買收ヲシナカッタナラバ、會社ノ方デ事業ヲ竣工スルコトデアラウト思ヒマスガ、政府ニ於テ買收スルコトニナレバ、政府ハ無論會社ノ計畫ヲ繼イデ、此事業ヲ進メルコトデアラウト思フ、サウ致シマスレバ、此買收價格、即チ會社ニ仕拂フベキ代金ノ外ニ、此事業ヲ完成スルコトノ事業費ガ要ルデアラウト思フ、此事業費ト云フヤウナモノハ、ドウ云フ方法ニシテ支辨ヲナサレル御考デアルカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、公債ヲ發行スルトカ、其外ニ財源ヲ求ムルコトヲ是非シナケレバナラヌト思ヒマスガ、ソレ等ニ對スル政府ノ計畫ハ如何デアルカ、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員仲小路廉君 唯今ノ御質問ニ御答致シマスガ、御質問ノ御趣意ハ草梁釜山間ノ延長ニ付イテハ、ドウ云フ計畫デアルカ、其費用ハドウナルカ、買收後政府ガヤルトスレバ、其費用ハドウ云フコトニナルカト云フ、斯ウ云フ御話ガゴザイマス、草梁釜山間ノ工事モ、大體今日マデ會社ノ方ニ持ツテ居リマス、此資金ヲ以テ竣工シ得ル計畫デアリマス、草梁釜山間ノ線路、及停車場ノ工事費等ニ對シマシテハ、相當ノ費用ヲ會社ノ方デツレニ充テテ居リマス譯デゴザイマス、其分ハ買收致シマスニ拘ハラズ矢張是マデノ豫定經費ヲ以テ竣工シ得ル見込デアリマス

○井上君 買收ノ時期ハ京釜鐵道三十九年トナツテ居リマスガ、御廻ハシニナリマシタ參考書デ見ルト、三十九年七月ニ是ヲ買收スルト、斯ウ云フ假定メテ總テ計算ガ出テ居ルヤウデアリマス、果シテ七月ニ買收スル豫定デアルカ、若シサウデアラナラバ、唯今政府委員カラ御答ニナツタ草梁釜山ノ延長線ハ、會社ニ於テ七月マデニ全部成工スル十分御見込ガ立ツテ居リマスガ、若シ其買收ノ時ニデモ、延長線ガ完成ラシナイト云フコトニナルト、政府ノ方デ引キ取ツテ其仕事ヲシナケレバナラヌ、政府ガ新規ノ鐵道ヲ延長スル事業ノ費用デゴザイマスカラ、此買收ニ依ツテ公債等ハ別ニ財源ヲ求メル必要ガアラウト考ヘマス、果シテ七月マデニ買收スル其延長線ハ——延長工事モ全部完成スル御見込ヨリ、唯今政府委員ノ答辯セラレタルハ、建設費ヲ以テ其仕事ヲヤツデシマウト云フ御説デアルカト云フコトヲ……

○政府委員仲小路廉君 三十九年七月ニ買收スルト云フコトハ一ツノ見込デ、今ノ費用ハ今日マデ會社ノ有ツテ居リマス費用ノ中デ出來マス譯デアリマス、隨ツテソレカラ後ニ政府ガソレヲ引受ケマシタ所デ、矢張此度ノ此費額デ其事ハ纏リマス譯ニナリマス

○委員長長谷場純孝君 諸君ニ御諮リヲ致シマス、モウ京釜鐵道ニ關スル御質問モナイヤウデゴザイマスカラ、是デ質問ハ終ツタモノニ看做シテ、討議ニ掛ッタドウデゴザイマス

(「ドウカサウ願ヒタイ」又ハ「賛成」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷純孝君 是カラ鐵道國有法案ノ討論ニ移リマス、ソレニ付イテ御諮
リヲ致シテ置キマスガ、此鐵道國有法案ハ重大ナ問題タルガタメニ、各黨派ニ於テモ、餘
程ノ調査審議ヲ盡サレ、既ニ昨日各黨派ニ於テモ各其黨議ヲ決定サレタヤウニ承リ
マス、ソレデ先ヅ大體ニ付イテ討論ヲ盡シテ贊否ヲ決シマシタナラバ、模倣ニ依ッテハ逐條
ニ審議ヲ盡シマス必要ハナイカト思ヒマス、併シ逐條ノ中ニ付イテ若シ修正ヲ試ミントス
ル御意見アル御方ハ、其場合ニ於テ即チ大體議ノ中デ、何條ニ修正ヲ加ヘタイト云フ
風ニ、御意見ヲ出シマシタナラバ、議事ノ進行ガ甚ダ便利デラウト思ヒマスカラ、サウ致
シマス、ドウデゴザイマス

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○淺野陽吉君 私ハ此鐵道國有法案全體ニ付イテ、不同意ヲ唱ヘルモノデアッテ、此
案ノ全部ヲ廢棄セラレンコトヲ希望スルノデアリマス、既ニ委員會ノ大勢ハ採決ヲ經ナ
イ、唯今カラ其結果ハ豫想サレルノデアリマス、定マデ居リマスカラ、言フ費スノ必要
ハナカラウト思ヒマス、茲ニ至ッテ言フ費スノハ、甚ダ愚ノ至リト思ヒマス、愚ハ又
時トシテハ國家ニ用ガアルノデアリマスカラ、本員性來ノ愚ヲ守リマシテ、極簡單ニ私ガ
本案全部ニ對シテ反對ヲ表シテ、此案ノ否決セラレンコトヲ希望シテ、私ノ論據ノ繩張
ノ概要デケラ今日ハ述ベテ置カウト存ジマス、一體衆議院ノ本會竝ニ委員會ニ於テモ、
衆議院其者ガ事實ノ上ヨリ國利民福ヲ圖ルノ本義ヲ以テ居ル、其議場ニ於テ抽象的
議論ヲ逞シスルコトハ、甚ダ本員自カラモ好マザル所デ、又採ルベカラザルコト、思ヒマ
スケレドモ、此法案ニ對スル理由ハ、西園寺首相竝ニ各内閣大臣ノ論據ノ多クハ空論
空想ニ聘セテ、事實ヲ離レテ居ル抽象的ノ論據デアリマスカラ、ソレニ誘發サレテ勢ヒ已ム
ヲ得ズ本員ノ論據モ、先ヅ第一ニ空論空想ヨリ始メナケレバナラヌト云フコトヲ悲ムノデ
アリマス、西園寺首相ノ第一ノ論據トシテハ、歷史的見解デアッテ、我政府ノ本來ノ主
義ハ國有主義デアッタデゴザイマスガ、先ヅソレヨリシテハ甚シキ空論空想ニ聘セタ事
實ト、歷史ニ副ハナイ所ノ一ツノ言トシテ、排斥セナケレバナラヌ、ソレ故ニ事實ニ付イテ
先ヅ私ガ論據トコロノ論據ヲ要點ヲ茲ニ申述セヤウト思ヒマス、——細論ニハ這入リマ
セヌ、西園寺首相ハ我政府本來ノ主義ハ國有主義デアルト云フコトヲ標榜サレ、我國
ガ鐵道政策ヲ取來タコトハ、國有主義ヨリ離レタコトハナイ、終始一貫シテ居ルト言ハ
レタガ、事實ハ左様ノ事實ナラズデゴザイマス、明治政府ノ元祖、又西園寺内閣大親分
トモ申スベキ、故岩倉公ガ民有主義ノ種ヲナサレテ居ル、ソレハ東京橫濱間ノ鐵道ヲ
營テ華族ニ拂下ゲテ、華族ノ財產トナサント云フ計畫ハ、故岩倉公即チ明治政府ノ元
祖現内閣ノ大親分トモ名クベキ故岩倉公ガ、民有主義ヲ立テラレテ居ルノデアル、故
岩倉公ガ既ニ資金ヲ調達サレテ居ラノデ——金モスツカリ買受ノ費用ヲ總メテ居ラノ
デアルガ、併ナガラ此十年ノ亂ト云フ意外ノ紛騷ガ起ッタタメニ、ソレニ遭遇シテ遂ニ買
フコトガ出來ナカッタデアッテ、其計畫ハ畫餅ニ屬シタノデアル、是ニ由リテモ鐵道ハ民
設モ亦可ナリ、民有モ亦可ナリ、決シテ國有ニ限ルモノデナイノデ、民有主義ガ宜シト
云フコトハ、故岩倉公ニ依ッテ十年ノ當時ニ既ニ教ヘラレテ、今日マデ存シテ居リマス、今
日内閣ヲ組織セラレテ居ル所ノ各大臣ハ、故岩倉公ノ墓標ヲ叩イタナレバ、汝等ノ考ハ
過ッテ居ル、終始一貫デハナイト云フ教ヲ受ケルデアラウ、是ガ事實上國有主義ヲ以テ終

始一貫シタノデハナイト云フ、一ツノ反證デアル、炭礦鐵道ヲ政府ハ拂下ゲテ、官有主義
ノ範圍ヲ縮少セラレタコトガアル、サウ云フコトノ事實カラ考ヘマスト、國有一點張デナイ、
殊ニ炭礦線ハ拂下ゲタノダト云フヨリモ、事實ニ於テ殆ド無代價ヲ以テ吳レテヤウタト云
フ方ガ適當ナル様ナ形跡ヲ示シテ居ル、是ハ政府ガ既ニ國有主義ノ範圍ヲ縮メナケレバ
ナラヌト云フ一ツノ主義ヲ、此コトニ實行シタノデアル、是ガ第二ノ反證デアル、第三ハ日
清戰役ノ後ニ我國ノ經濟界ハ、非常ニ起業熱ガ起ッタ其時ニ、ソレニ引キ續イテ鐵
道熱モ亦各地ニ起ッタガ、其起ッタ鐵道熱カラ多クノ投機的事業ガ起ッタ、是ガ日清戰
役後ノ經濟界紊亂ノ原因トナッタノデアル、其鐵道ガ各處ニ誘發シテ、ソレニ連レラレタ
ルトコロノ投機的事業各地ニ起ッテ、金融ノ必迫ヲ來シマシタ、ソレヲ誘ッテ原因ハ、遞
信省ニ於テ、其時民間ニ不相當ニ起ッタ鐵道熱ヲ抑ヘルコトヲシナイデ、假免狀ヲ濫發
シタ形跡ガアル、其結果九州デハ、殊ニ私ノ住ッテ居ッテ、事實ヲ目撃シタコロノ福岡
縣ノ金融、其當時ノ經濟紊亂ハ遞信省ヨリ下ゲラレタ鐵道ノ假免狀ヨリ湧發シタルモ
ノガ原因ニナッテ居ル、是ガ即チ決シテ國有主義ト云フコトヲ政府ガ固ク執ッテ、終始一
貫シタ證據デアハナイ、却テソレハ民設モ亦擴張スベシト云フ主義ヲ、其時ニ於テ信セラ
レテ居ッタト云フ反證デアラウト思ヒマス、是ガ私ノ舉ゲマスル第二ノ反證、其次ニハ歷史
的ノ觀察ヲ止メテ、事實ハ如何ニナッテ居ルカ、唯今日日本ニ於ケル鐵道ノ哩數ヲ調査シ
テ見マスト、遞信省ヨリ頂戴ヲ致シマシタル、此統計表ニ依ッテ見マスト、官線ノ延
長哩數ガ千五百哩アル、ソレカラ民設ノ哩數ガ三千二百哩ゴザイマス、丁度我國ノ鐵
道哩數ノ四分ノ一強ガ官線デアッテ、四分ノ三弱ハ民設デゴザイマス、ソレ故ニ若シ政
府ニ國有主義ガアッタト云フコトニシテ見マシテモ、其主義ハ現在現レテ居ルトコロノ事
實ノ上ノ哩數ノ四分ノ一強ガ、國有主義デアッテ、四分ノ三弱ガ民有主義デアル、之
ヲ私ノ頭ノ中ニ比例シテ、贊否ヲ決シマスレバ、若シ私ノ頭ヲ分割スルコトガ出來ラナ
ラバ、私ノ腦髓ノ中ノ四分ノ一ハ西園寺首相ノ宣言ガ誠デアッテ、國有主義デアッタ贊
成シ、四分ノ三ハ否ト云フコトヲ以テ答ヘナケレバナラヌト思ヒマス、是ガ西園寺首相ガ
宣言サレタルトコロノ、我政府ハ本來國有主義ヲ以テ、終始一貫シテ居ルト云フ、其
宣言ガ事實ニ副ハナイ、歷史ニ副ハナイ、即チ鐵道行政ノ上カラ、又歷史ノ事實ノ上
カラ脫線シタル一場ノ囁語ニ過ギナイト思ヒマス、第二ハ西園寺首相ノ唱フルトコロノ
國有主義ハ、本ヲ糺スト山縣侯ガ獨逸カラ直輸入ヲサレタルトコロノ「ピスマルク」主義
デアラウト思ヒマス、ソレハ西園寺内閣ハ咀嚼シナイデ、受賣ヲナサル譯デアハナイカト思
ヒマス、所ガ獨逸ノ「ピスマルク」主義ハ、其當時ハ行ハレタガ、「ピスマルク」ガ其當時行
ヒシ國情ト、我國ノ國情トハ、餘程違ッテ居リマス、「ピスマルク」ノ論據ノ一ツハ、普佛戰
爭ニ於テ大勝利ヲ占メテ、外侮リヲ禦ギ、敵ヲ壓服シタケレドモ、獨逸聯邦成立ッテヨ
リ、尙日ガ淺イノデアリマスカラ、内憂モアッタ、ソレ故ニ聯邦ヲ貫通シテ居ルトコロノ
大道路タル鐵道ノ實權ヲ掌握スル者ガ、獨逸聯邦ノ主權ヲ握ルコトト、「ピスマルク」主
義カラ割出サレタノハ、第一ニ軍事のニシテ、而シテ獨逸統一主義デゴザイマス、獨逸ノ
聯邦ヲ貫通シテ居ル大道路タル、鐵道上ノ主權ヲ握ルモノガ、獨逸聯邦ノ主權ヲ握ル
モノト確ク信ジテ實行シタノデアル、我國デハ左様ナ必要ハナイト思ヒマス、日本ノ國體、
日本ノ國情ガ、唯今尙此後將來幾千年ノ後モ、斯カル政治的不必要ナル主義ヲ我

國ニ實行スベキコトハ、國體ノ上ニ於テナイコトニ私ハ信ジマス、是ガ第一西園寺侯ガ受賣ヲナサル證據ガ破ル、トコロノモデゴザイマス、次ニハ獨逸ガ國有主義ヲ實行シタト同時ニ、御承知ノ通、歴史ノ上ニ於テ、未ダ曾テ見ザルトコロノ大ナル財政上變體ガアツタ、佛國ヨリ五十億法郎價金ヲ取リ、財政ハ裕カデアツタ、實ニ鞏固デゴザイマス、然ルニ我國ノ財政ハ、今ハ我國ノ歴史ニ於テ未ダ曾テ見ナイ、二十四億ト云フ國債ヲ控ヘテ居ル、此鐵道買収ヲ企テ、居ルトコロノ法案ニ依ルト、買収ノ事業ノ終ルベキ明治四十四年ニハ、私ノ計算ニ依ルト、政府ノ爲スガ儘ニ任セバ、二十八億ト云フ大ナル負債ヲシナケレバナリマセヌ、是ハ獨逸ノ當時トハマルデ國情ガ違フ、獨逸ノ國情ハ其時ニハ五十億法郎ト云フ價金ヲ取ツタトコロノ裕カナル財政ヲ以テ居ツタ、我ハ二十四億、二十八億ト云フ國債ヲ負擔シナケレバナラヌト云フ、窮乏極マル財政ヲ以テ計畫サレテ居ルノデゴザイマス、無論大藏大臣ハ、買収ニ伴フ凡テノ公債ハ、株ヲ變ヘテ公債ト爲ス、即チ有價證券ノ變形デアルト云フヤウニ輕ク論ゼラレルガ、ソレハ無論形式ニ於テハ、其通デゴザイマス、ケレドモ、兎モ角モ二十八億ト云フ公債ニ其時ニ至テ達スルノデゴザイマス、財政ノ狀態ガ、マルデ彼ガ行ヒ彼ガ取ル時トハ違ツテ居リマス、若シ是ノ如キ財政狀態デアツタナラバ、當時「ヒスマルク」ハ此現内閣ガ企ツルトコロノ大膽ナル政策ハ執ラナカッタデアラウト思ヒマス、無論今日ハ今申シマス通、細目ニ入リマセヌガ、之ヲ段々押詰メテ見マスルト、現内閣ノ御方々ハ、西園寺首相ヲ初メ、皆サンガ從來ノ内閣員ヨリハ、餘程讀書ノ人デアツテ、學識ノ高キ御方々ト思ヒマスガ、惜イ哉、悉ク書ヲ信ズレバ書ナキニ如カズノ弊ニ陷ツテ居ラウト私ハ思ヒマス、一體此鐵道國有主義ト云フモノハ、學說ニ於テモ、決シテ今日マデ斷定サレテ居ナイ問題デ、民有主義ノ者モアリ、國有主義ノ者モゴザイマス、唯國家社會主義者ト目セラル、トコロノ一二ノ學者ガ斷定ヲ下シマシタケレドモ、ソレニハ、大ナル慾望ト、大ナル理想ガ籠ヅデ居ル、其理想ガ行ハレザル限ハ、國家社會主義者ト雖モ、之ヲ是認致シマセヌデアリマス、現在ノ財政狀態ト、經濟ノ上カラ割出シタナラバ國家社會主義者ノ唱フルトコロノ、國有主義ノ理想ヲ實現スルコトハ出來ナイモノト信ズルノデゴザイマス、故ニ西園寺首相ニ依ツテ、初メテ斷定セラレタル國有主義ト云フモノハ、甚ダ空想ニ騁セ、又獨逸ノ國情ト我國ノ國情ト比較スレバ、其結果遂ニ、悉ク書ヲ信ズレバ書ナキニ如カズト云フヤウナ弊ニ陷ツタデアルト信ジマス、其次ハ軍事上ノ問題デゴザイマスガ、此軍事上ノコトハ一體門外漢ノ頗ル知ルニ困ムトコロデアリマシテ、私モ是ニハ實ニ意ヲ注ギ、耳ヲ傾ケテ、當局寺内大臣ノ御説明ヲ聞キマシテ、稍々具體的ニ互ツタ答辯ヲ私ハ得マシタノデ、其好意ハ深ク感謝致シマス、是ハ門外漢ノ最モ知ラント欲シ、又知リ難イトコロデアアル、唯軍事上ト云フ言葉ハ如何ナル秘密ガ籠ヅデ居ルカ、如何ナル言論ヲ以テモ、説明スルコトモ出來ナイ、文章ヲ以テ書クコトモ出來ナイ、大ナル必要ナル理窟ガアリハシナイカト云フ疑ヲ起ストコロノ魔力アルモノト思ハレマス、ソレデ之ヲ能ク謹シテ拜聽致シマスルト、寺内大臣ノ説明ハ稍々具體的ニテ、幸ニモ軍事上ノ必要ハ、門外漢タルトコロノ私等ガ判斷シ得ル範圍内ノ必要デアツタ其要ヲ摘メバ、長距離輸送ヲスル時ニハ、各鐵道會社ヲ呼出シテ、交渉シナケレバナラヌカラ面倒デアアル、ソレカラ停車場ノ設備ガ不十分デアルト云フニ過ギナイト思ヒマス、此二三箇條ノ外ハ、何モ理由ガナイ、之ヲ咀嚼スレバ、幸ニモ軍事上ノ必要

要トシテ今日提供サレタノハ、詰リ門外漢ト雖モ、判斷ノ付ク範圍内デアツタノハ喜ブベキコトデアリマス、一體國有デナケレバ目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトデハナイ、鐵道營業法ノ第一條ヲ見レバ、軍事上運輸材料ノ不揃ニ付イテノ必要ハ政府ノ行政次第ヲ足スコトガ出來ルト云フ法文ガアツテ、軍事ニ對シテハ、万能力ヲ備ヘテ居ル、一體日本ノ私設會社ハ西洋トハ性質ガ違フ、ソレ故ニ行政官ガ適當ナル行政ヲ執リ、法律ガ命ジテ居ル範圍内ニ於テ、命令權ヲ適當ニ行ハレタナラバ、今ガ今デモ充テシ得ル要求デアアル、遞信大臣竝ニ遞信省ノ政府委員ニ、私ガ運賃ノ將來如何ヲ尋ネタ時ニ、民設鐵道ノ利益ガ侵シテ、命令ヲ下セバ、目的ヲ達スルケレドモ、サウデナケレバムツカシイト云フコトデアツタ、私ガ想フニ陸軍大臣ガ要求サレテ居ルトコロノ、軍事上ノ要求ヲ充テスニハ、民設鐵道會社ノ利益ガ侵害シテ、爲シ得ル範圍内ノ要求デアアルカト考ヘテ見レバ、深ク顧慮スルベキモ、民設ノ利益ガ侵害セザレバ、民設ニ於テ得ベカラザル要求デハナイト確信致シマス、其慾望——慾ト云フハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、其慾望ヲ充テスコトガ出來ルト信ジマス、是ノ如キコトヲ論究シテ往クト、軍事上ニ云ツト云フコトハ、徒ラニ鬼ノ面ヲ掲ゲテ俗人ヲ嚇カシタニ過ギナイ、是ハ私ガ反對スル第三ノ理由、其次ニハ現内閣ノ諸公ガ、主トシテ國有ノ效用ヲ説カル、ノハ、統一シタ上デ、長距離輸送カラ來ルトコロノ、運賃ノ割引ニ依リ、會社ニ利益ヲ與フルコトガ多ク、今ノ運賃ハ頗ル不廉デアアルカラ、國有ヲ以テ救済スルコト云フ論據ハ、直通列車ヨリ生ズル割引ノ利益デアルト云フコトヲ發見シタ、是ハ現内閣ノ第三ノ論據デアアル、統一ハ必要デアリマス、私ハ熱心ニ希望スルノデアリマス、要スルニ當局者ノ目的ハ國利民福ヲ助クルコトガ出來タナラバ、其目的ヲ達スルノデ、民有又可ナリ、何ゾ必シモ民有國有ノ是非ヲ問フ必要ハナイ、民有ニシテ直通列車ノ便ヲ開キ、直通列車ヨリ生ズルトコロノ運賃ノ低減ヲ圖ツタナラバ、民有カラ内閣諸公ノ唱ヘタル所ノ統一ノ利益ハ、既ニ收メ得ルノデアアル、直通列車ヨリ來ル運賃ノ遞減ハ、國有主義ガ持ツテ居ル專賣特許ノ特出デハナイ、民有ニモ備テ居ル利益デアアル、且此事ハ恐クハ現内閣ノ諸公ハ、鐵道營業法ヲ起草サレタコロノ官吏ガ、退職ヲサレタカ、或ハ死亡サレタカ、辭職シタカト云フコトデアツテ、其起草シタ人ガ居ナイタメニ、現内閣ノ諸公ハ鐵道營業法ヲ忘レテ居ラル、ノデハナイカ、民設デモ直通列車ヲ開ク道ハ十分備テ居ル、政府ガ努メテ議會ノ協賛ヲ經テ法律デアアル、ソレニ明カニ備テ居ル、私設鐵道法五十七條、五十八條、五十九條、六十條、六十一條、六十二條、六十三條、六十四條ヲ讀メバ、直通列車ハ政府ガ技能アリ、且民間ニ對シテ政府ノ言フコトヲ信ゼシメル信用程度ガアツタナラバ、今現ニ出來ルノデアアル、殊ニ六十三條ニ、「主務大臣ハ會社ニ他ノ鐵道トノ連絡運輸又ハ直通運輸ヲ命スルコトヲ得」トアル、現内閣ニシテ民間ノ私設鐵道ニ對シテ、十分ナル信用ヲ以テ居ツタナラバ、今デモ命令シテ開カシムルコトガ出來ル、日本ノ鐵道ハ、既ニ直通列車ハ、民設ガ希望シテ居ルノデアリマス、戰終ツテモウ少シ經ツテ、秩序ガ恢復シタナラバ、山陽鐵道ハ、好シデ馬關ト新橋間ノ直通列車ヲ開カントシテ居ル、日本鐵道ハ直江津ト上野ノ直通列車ヲ開イテ居ル、若シ内閣ニシテ、民間二十分ノ信用ヲ持ツテ居リサレバ、六十五條ノ直通運輸ノ開カル、コトハ、當局大臣ノ手中ニアル、六十四條ヲ讀シテ御覽ニナレバ、其道ノ開ケテ居ル、此道ヲ開クコトガ、出來ナイノハ、己レノ技術ガ足リナイカッ

タ、信用が足りナカッタメニ、法律ハ命令權ヲ政府ニ與ヘテ居ルケレドモ、其效ヲ奏シ得ナイト云フコトヲ、自白サレタニ過ギナイノデアル、統一ト云フコトハ、民設既ニ希望シテ居ル、此處ニ今御出席ニナリマセヌガ、私ト同縣ノ人デアル、野田君ナドハ目撃サレテ居ル、九州デハ、民設ハ統一サレテ居ル、此上官線ト統一ヲシタナラバ、鹿兒島ノ一部ヲ合併スルニ過ギナイ、博多灣鐵道、獨リ孤立ノ地位ニ立ッテ居ルガ、是ハ些々タル鐵道ヲ手ノ平ニ筋ヲ引イタニ過ギナイ線路デアル、九州ノ鐵道ハ、鹿兒島ノ官線ヲ除クノ外、今ヤ既ニ統一サレテ居リマス、遞信省ノ手ヲ以テセズトモ、ナシ得テ居ルノデアリマス、昔ハ此處ニハ私設鐵道ハ、船越、豐州、筑豊諸鐵道ノガアリマシタガ、悉ク九州鐵道ニ依ッテ統一サレタノデアリマス、ソレカラ大阪附近ニテハ、奈良鐵道、南和、紀和諸鐵道ハ、關西ニ合併シテ、統一ヲ圖リツ、アル、民設ハ統一ニ近付イテ居ルノデアリマス、山陽鐵道、中國鐵道ノ間ニモ、近キ將來ニ於テ、政府ガ今日ノ如キ案ヲ出サナカッタナラバ、是ハ合併スルデアラウト想像スル、ソレデ大ナル會社ガ、各地方ニ於テ統一ヲ企テツ、アル今日ハ、日ナラズシテ二十二ト云フ會社ノ數ニ内閣ハ驚カルノデアルケレドモ、日ナラズシテ十幾ツ位ニ減ツテ、其間ノ連絡ノミヲ、遞信大臣ガ、國家國民ニ對シテ、持ッテ居ル信用ヲ維持セラレテ居ルナラバ、此直通列車ノ運轉ト、ソレヨリ生ズル運賃ノ遞減ハ、明カニ實行シ得ラル事實ガ現ハレツ、アル、是ハ内閣諸公ノ論據ニ反對ヲ致シマス、殊ニ此民設ノ合同ヲ促ストカ、直通列車並ニソレヨリ生ズル運賃ノ遞減ヲ促ス上ニ於テ、法律ガ不備デアルト云フナラバ、法律案ヲ出ス上ニ於テ、最モ巧妙ナル腕ヲ持ッテ居ラレル現内閣ニシテ、會期切迫ノ今日出サル、ナラバ、直チニ通過スルデアラウト思フ、今ノ内閣ハ、ソレヲ爲スニ最モ妙ナル技能ヲ備ヘテ居ラル、ノデアル、ソレ故ニ此人民ノ既得權ヲ、蹂躪シヤシナイカト云フヤウナ疑ノアル法案ヲ出サレズシテ、此運輸ノ點並ニ運賃ノ遞減ト云フコトニ付イテ、尙法律ガ不備デアルナラバ、今之ヲ出シテ、人民ノ權利ヲ蹂躪スルガ如キ感ヲ人民ニ抱カシメテ、怨嗟ノ聲ヲ招カズシテ、法律ノ不備ヲ補フガ、最モ得策デアラウト思フ、是ハ私ガ反對ヲ表スルコトノ理由デゴザイマス、其次ハ内閣ノ財政ト、國有ノ關係ニ付イテ、大藏大臣ハ頗ル樂天的ニ觀察致サレタノデアリマスガ、今回出ストコロノ公債ハ、金額ハ四五億圓ニナルケレドモ、ソレハ五十六年間ニ國民ノ公債ノ吸收力ヲ顧ミテ出ス、ソレ故ニ是ハ公債ノ相場ニ懸念ヲ及ボスト云フコトハナイ、今回出ス公債ハ株券ト公債ト形ヲ變ヘルノミデアルカラ、性質ノ變ルモノデハナイ、新タニ殖エルモノデハナイ、ソレ故ニ將來公債ノ價格ニ懸念ハ及ボサナイト云フ、樂天的ノ觀察ヲナサレテ居ル、己レガ大藏省ニ居ル間ハ、國民宜シク信頼シテ可ナリト云フコトデアル、言葉ハ穩健デアッタケレドモ、心ハ己レガ大藏ニ居ル以上ハ、國民安心シテ信頼シテ可ナリト云フ抱負ガ、其顔色ニ現ハレテ居ッタ思フ、此抱負ハ私ハ國家ノため喜ンデ居ル、此戰後經營、三十億ノ公債ヲ振廻スト云フ、彼ノ大藏省ニ居ル人ハ、此位ノ抱負ガナケレバナラス、是ハ大藏大臣ニ贊賞ノ言葉ヲ呈シタイト思フノデゴザイマス、併ナガラ如何ニ考ヘテ見デモ、公債ハ公債デアル、株券ト書替ヘテ、ソレヲ渡シタ後ニ、或ハソレガ保證トナリ、或ハ抵當トナリ、或ハ市場ノ賣物トナッテ、貨幣ノ要求ヲ惹起ス、通貨ノ需用ヲ惹起スノデゴザイマス、通貨ノ需用ハ、取りモ直サズ、現在ノ經濟市場ヨリ、公債ヲ募集シタト同様ノ影響ヲ、金融ニ及ボスモノデアル、詰リ公債

ガ市場ノ賣物ニナッテ、其金額ハ取りモ直サズ、國庫ガ市場ヨリ公債ヲ現金ヲ募集シタト同ジ影響ヲ與ヘル、通貨ノ需用ト共ニ受ケルトコロノ影響ヲ受ケテ、金利ハ幾ラカ上ガラネバナラヌ結果ヲ生ズル、ソレタケ公債ノ相場ニ影響ヲ及ボスモノデアル、ソレ故ニ形ハ株券ガ公債ト變形シタダケデ、有價證券ヲ少シ増シタト云フコトデハナイト云フコトハ、事實デアルケレドモ、ソレヨリ生ズルトコロノ金融界ノ變動ガ起ッテ、公債ガ内外ノ市場ニ於ケル下落ヲシヤシナイカト云フ大ナル心配ガナケレバナラス、其心配ガ大藏大臣ノ頭ニモナケレバナラヌ、此政策ノ内ニハサウ云フ危險ヲ含シテ居リマス、而モ此危險ト云フコトハ、今日ノ財政ニ於テ、最モ憂フベキモノデアルト云フコトハ、過日國債整理基金法案ノ時ニ、大藏大臣ガ極力辯明サレタコロデアル、此國債整理基金法案ト云フモノハ、何ガためニ出シタカト云フト、獨リ公債ノ價格ヲ維持セシガためニ出シタト云フコトヲ、大藏大臣ハ明カニ委員會ニ於ケル御説明ニ於テ述ベラレテ居ル、公債ノ價格ハ下落シヤシナイカト云フ虞ガ、我國今日ノ財政ニ於テ、最モ大ナル禁物デアルト本員ハ信ジマス、此危險ナル政策ヲ執ルト云フコトハ、今日ニ於テ少シ勇氣ガ餘リニ強過ギハシナイカト思ヒマス、ミナラズ、之ヲ救済スルニ於テ、大藏大臣ハ斯ク論究セラレテ居ル、速記録ニゴザイマス、通、「無論公債ガ下落シテ賣物ガアルト云フコトハ、自分モ想像シナイデモナイ、必ズアラウト想像スル、ソレ故ニ其場合ニ於ケル救済ノ途ハ、減債基金部ト、預金部ト、日本銀行ト、興業銀行ヲ利用シテ、大藏省ハ賣物ノ公債ヲ買ツテ、其價格ヲ維持スル途ヲ開クノデアル」ト斯ク論セラレテアル、此公債ヲ多ク持ッテ居ル國ノ財政ハ、時ニシテ國庫ガ公債ヲ買ツテ其價格ヲ維持スルコトハ無論必要デアル、絕對の不可ナリトハ申シマセヌガ、併ナガラ此政策ガドン／＼行ハレルト、我國ノ財政ノ振リ方ハ、即チ露西亞流ノ「ウヰッデ」政策ニ陥ルノデアル、甚ダ危險ナル財政ト考ヘマス、大藏大臣ハ減債基金案ノ問題ニ對シテ、私等ヲ評シテ手品ノヤウナ方策ダト云ハレタガ、公債ヲ買ツタリ、或ハ賣ツタリシテ、株屋的政策ヲ執ルト云フコトハ、吾國ノ財政ノ將來ニ於テ、此政策ハ最モ私ハ嫌フベキモノデアルト思フ、ソレ故ニ是ハ排斥シマス、其次ニ財源涵養ト云フコトヲ説カレタ、間接ニ——西園寺首相ガ菊池君ノ本會ニ於テノ質問ニ對シテ、間接ニソノ希望ノアルコトヲ述ベラレマシタ、其意味ハ財力ノ涵養ヲ圖ツテ、國庫ノ金ヲ殖ヤスコトヲ希望スルト云フコトデゴザイマス、無論鐵道ノ如キ、獨占事業ハ、即チ社會ノ進運ト共ニ、其事業ガ發達スベキモノニシテ、利益ノ彈力ハ無論アルコトハ分ッテ居リマス、併ナガラ獨占事業ニハ經費モ亦彈力性ガアルト云フコトハ、御志レノナイヤウニ希望シタイ、無論鐵道ノ收益ハ、將來増加スベキハ明瞭デアルト同時ニ、又經費ノ膨脹スベキ彈力ガアルト云フコトハ、御志レノナイコトヲ希望スル、殊ニ直接利害關係ヨリ來ル監督嚴密ナル株主ノ中ヨリ、全部ノ鐵道ヲ奪ッテ官紀ガアルム——私ハ今日ノ政府ノ官紀風紀ト云フモノハ、決シテ引締テ居ル政府トハ思ハヌ、官紀ガアルンデ居ル、之ヲ監督スベキ衆議院モ、亦元氣ガ衰ヘテ居ル、年々歲々會計検査院ガ不都合デアル、不法デアル、不理デアルト判定下シタ、會計ノ始末ガ、十中ノ九ハ、此衆議院ニ於テ是認セラレ、ト云フ程、政府ニ對シテ監督權ノ實行ガアルンデ居ル、衆議院ニ對スル政府ハ、此經費ヲ十分ニ收縮シテ、鐵道ヨリ生ズルトコロノ利益ヲ十分彈力アラシムルト云フコトハ、ムツカシイコト、思ヒマス、此二十六年カラ其後十年間、各鐵道ヨリ生ズルトコロノ收入

ノ百圓——收入ノ益金百圓ニ對スル鐵道經費ヲ比較スルト、官線ノ經費ハ陰陽線ガ一番多クテ、收入百圓ニ對シテ百六十三圓ノ經費ヲ使ッテ居ル、東海道ガ一番低クテ四十圓ノ經費ヲ使ッテ居ル、官有線全部ニ平均スルト、收入百圓ニ對スル經費ハ八十八圓ト云フ金額デアル、處ガ今同買收サレヌシテ居ル鐵道ノ中カラ——アノ中ニハ無論御話ニナラヌ程此間ドナカ委員會デボロ會社ト云フ名稱ヲ下サレマシタガ、私モソレヲ借りテ申上ケマスガ、御話ニナラヌボロ會社ガアリマスガ、其分省イテ信用アル民設會社ノミヲ十七撰ッテ、此營業費ノ計算ヲシテ見ルト、收入百圓ニ對シテ民設ノ十七會社中デハ一番高イノガ西成鐵道ノ七十八圓デアル、一番低イノガ即チ參宮鐵道ノ三十四圓デ、經濟的ニ是ヲヤッテ居ル、十七會社ヲ平均スルト收入百圓ニ對スル營業費ノ平均四十五圓、官設鐵道ノ半額ヲ使ッテ收入百圓ヲ上ケテ居ル、是ニ向ッテ如何ニ今後遞信省ガ風紀ヲ正シテ經營宜シキヲ得タリト雖モ、民設デヤルヤウニ經濟的ノ行政ハ執レヌト思フ、ソレ故ニ政府ガ官設ヲ希望スルト云フ財源漸養ハ言葉ノ上ニ於テコソ言ハレマスルガ、實行ノ上ニ於テハ決シテ上ガラヌト思ヒマスル、無論遠キ將來ニハ上ガリマセウ、如何ニ政府ガ贅澤ナル暮シヲシテモ、社會ノ進運ノ度ガ急速ナルダケ利益ハ必ズ上ガリマセウガ、民設ニ於テ上ケ得ベキ利益ヲ官設ニ移シテ、上ケ得ナイコトハ斷定ヲ下セマス、比較的の利益ハ少ナカラウト思フノデアルノミナラズ、今ノ官有鐵道ハ全國ノ哩數ノ四分ノ一ダケヲ、現遞信大臣竝ニ今日マデノ過去ノ遞信大臣ハ管理シテ居ッテ、サウシテ營業費ノ多キコト斯ル始末デアル、ソレヲ今後三十二會社ト合セテ是ヲ己レ一身ニ集メテ、四分ノ一ノ時デサヘモ官往カナカッタモノヲ、四分四ヲ集メマシタナラバ、確カニ是ハ十分ニ往クコトトハ想像サレマセヌ、是ハ例ヘバ己レハ一尺ノ刀デハ片手討ハ出來ヌガ、三尺ノ秋水ヲ提ケレバ美事片手討ヲシテ見セルト云フノ同ジコトデ、信用ハ出來マセヌ、是ハ遞信大臣ノ技量問題、即チ信用問題デアルガ、私ハ茲ニ至ッテ少シ諸君ノ御諒察ヲ願ヒタイノハ、私ノ頭ノ中ニハ政治的ノ意味ハ聊カモナイ、唯ダ一ノ經濟——財政ノ將來ノ利害如何ト云フコトカラ割出シテ、反對ヲ唱ヘマスノデ、政治的ノ意味ハ少シモアリマセヌ、ドナタガ内閣ヲ組織ナサレテモ、ドナタガ遞信大臣ノ職ニ當ッテモ、私ハ聊カモ關係ハアリマセヌ、且ツ民間ノ事ニモ關係ハナイ、併ナガラ内閣諸公技量如何、信用如何ト云フコトハ熱心ニ注意シテ居リマス、茲ニ至ッテ國ノタメニ甚ダ直言シテ少シ恐縮デアリマスガ、現内閣ノ遞信省ノ主管ヲシテ居ラレル遞相ノ技量ニハ、全國ノ四分ノ一ヲ任セテアル、然ルニ我國ニハ未ダ會テ今日マデナカッタ、四分ノ四ヲ一人デヤッテ從來ヨリモ好クヤラウト信用スル程ノ價值ハ私ハ拂フコトガ出來ヌノデア、是ガ私ハ甚ダ直言ヲシテ御氣ノ毒ニアリマスケレドモ、私ハ左様ニ信ズル、殊ニ内閣ハ組織以來私ハ見レキモノハ何モナイ、今日マデ漸ヤク二箇月半ヲ經テ何一ツノ事業ハナイ、唯ダ法律ヲ此議會ニ提出シテ、多少ノ法律ヲ作ツテ外何一ツ技量ヲ示シタコトハナイ、信用ヲ吾々ニ示シタコトハナイ、斯ルモノヲ如何ニシテモ私ハ今日託スルコトハ出來ヌ、御就職以來私ハ之ヲ託スルダケノ信用ヲマダ與ヘラレヌノデゴザイマス、是ガ私ガ反對スル理由デゴザイマス、ソレカラ又豫定線ノ事、又未成線ノコトハ、是ハ遞信大臣ノ技倆ニ任セル外ハアリマセヌガ、我國ノ一般財政ノ狀態ハ減債基金ノ時ニ於テ私ガ詳論シマシタ通、私ハ甚ダ悲觀スル、將來五六箇年、若クハ十年位ハ年々七八千

萬圓乃至一億萬圓ハ公債政略ニ依ラナケレバナラヌ、一般財政ノ有様デアル、ソレヘ持テ來テ鐵道ヲ統一シテ、如何ニ巧ミニヤッデモ、鐵道ノ收益カラ今後鐵道公債ノ利子ト、其改良費ト、其元金ノ一部ヲ償却シテ、其上尙ホ一般財政ノ補缺スルコト云フコト如何ニ遞相技量アリシテモ、是ハ爲シ得ベカラザルコト、思フ、一般財政ガ窮迫シテ、今後十年間位ハ一億二近イ公債政略ニ遠ラネバナラヌト云フ始末デアル、若シ之ヲ官有ニシテ、一般歳入ノ中ニ鐵道ノ收益ヲ入レシマヒマスレバ、一般財政ノ缺陷ト云フ事カラ、利益アル鐵道ヲ窮迫シテ居ル、歳入ノ不足ヲ感ジテ居ル、財政ガ鐵道ヲ包ンデ、包圍攻撃ヲシテ、鐵道ヲ縮小スルコトニナラウト思フ、斯ル狀況ノ中ニ、即チ旅順ノ包圍ノ中ニ我ガ鐵道ヲ抛リ込ムコトハ甚ダ好ミマセヌ、國利民福ノタメニ如何ニシテモ此未成線ノ延長ヲ今後爲シ、豫定線延長ヲ今後政府ガ是ヲ爲スト云フコトハ、鐵道收益ノ上カラ是ハヤリ得ラレルノデアデ、是ヲ無理ニ爲セバ矢張り新ナル公債政略ニ依ラナケレバナラヌト思フ、サウスレバ鐵道ヲ官有ニシタガタメニ豫定線ヲ作り、未成線ヲ延長センガタメニ又公債政略ヲ行ハナケレバナラヌ結果ニナッテ、人民ハ己レノ力ヲ以テ延長シテ國利民福ヲ計ル、是ハ私ハ取りマセヌ、其結果ハ段々後來ノ鐵道ノ延長ノ上ニモ公債ヲ募集シ、一般財政ヲ取ル上ニモ、歳入ノ缺陷ヲ補フタメニモ公債ヲ募集スル、其結果遂ニ公債ハ日本ノ市場ニ溢レテ、大藏大臣モ後日天ヲ仰イデ啞然タル時ガアラウト思フ、是ハ帝國ノ不幸デゴザイマスカラ、此理由カラシテモ、私ハ國利民福ノタメニ鐵道延長ヲ圖ルコトノ上ニ於テモ反對スル、口ニ言フテ恐ラク實行サレナイト云フコトハ、四十箇年ニ渡ル遞信省ノ公債償還、鐵道財政ノ大計畫ノ方法ノ甲乙丙ノ表ニ依ッテモ現ハレテ居ル、將來ノ未成線ニ付イテモ政府ハ何ノ論據モ持タズシテ——薄弱ナル論據ヲ持ッテ、サウシテ人民ノ即チ既得權ヲ蹂躪シテモ之ヲ實行セントシテ居ラレルデハアリマセヌカ、今日信用アル鐵道會社、即チ利益ノ増シツアル——公債ト違ッテ、株券ノ金利ハ彈力性デゴザイマス——株券ノ配當ハ彈力性デアル、信用アル利益アル會社ノ株券ハ彈力性ヲ持ッテ居ルコトハ内閣諸公モ御承知デアラウト思フ、其信用アル鐵道會社ハ、今日マデ二十年ノ間、十數年ノ間、非常ナ苦心經營ヲ經來ッテ居ルノデア、御承知ノ如ク、九州鐵道ノ株券ヲ募集スル際ニ方デハ、血ヲ流シタト云フモ過言ナラザル事ヲシテ、起コシテ居ル、福岡ヤ熊本ヤ長崎ナド、各縣ノ知事ナドガ集マッテ相談シタコトモアル、現ニ武富君ナドハ佐賀出身ノ御方デアルカラ、御承知ノ管デアル、斯様ナ次第デアリマシテ、九州鐵道ナド涙ヲ流シ——血ヲ流シタ様ナ無理ナコトヲシテ、是ヲヤッテアル、サウシテ十數年以上ノ苦心經營ヲ經テ、初メテ利益アル會社トナリ隨ッテ十分信用スベキモノトナリマシタ、然ルニモ拘ラズ今日トナッテ其既得權マデモ踏入ッテ強ヒテ買上ケテ其權利ヲ奪フテマデモ之ヲ斷行シナケレバナラヌ價值ト云フモノハ決シテナイト思フ、内閣大臣ノ辯明ニ依レバ我國ノ鐵道範圍ハ少サイ島々ニキレノクニナッテ居ル、北海道、四國、九州、本土トナッテ、一番長イノハ本土デ、青森カラ馬關マデノ貫通線ガ一番長クテ、千百六十哩ニ過ギナイノデアアルガ、米國歐洲ノ大陸ニ於ケル鐵道ハ、佛蘭西ハ佛蘭西一國ノ鐵道デハナイ、獨逸ハ獨逸一國ノ鐵道デハナイ、縱貫シテ歐洲ノ西海岸カラ極東ノ、浦潮大連マデ通シテ居ル、斯ル歐洲ノ大陸ニ於ケル各國ノ鐵道政策ハ由々シキ大事タル、主タル經濟機關デアル、貿易機關デアル、亞米利加モ其

通りデアル、加奈陀米國ノ墨其西ヲ貫通シテ、南亞米利加ノ大陸ヲ貫通スル長イ鐵道デアル、日本ノヤウナ掌ノ上ノコロコニアレキレノノモノトハ譯ガ違フ、我日本ニ於ケル鐵道統一ハ北海道、四國、九州、本土、各島々々ケテ、大連絡ハ船ト港灣ノ力ニ依ラナケレバナラス、日清戰役及日露戰争ノ關係ヲ見マシテモ、鐵道ヨリモ寧ろ海運ノ方が大事デアル、私ハ内閣各大臣ハ日清戰役ノ時、日露戰争ノ時モ、當局ハ鐵道ノ不便ヨリモヨリ多ク海上ノ不便ヲ感シタアラウト思フ、是ノ如キ掌ノ上ニ於ケル鐵道問題ヲ事々シク言ハテ、船ト港灣ノ力ニ依ラナケレバナラス、我國ノ國勢ニ於テ事々シク言フテ、人民ノ既得權ヲ奪ヒ去テ、恐怖心ヲ懷カシメ、財政ニ對シテハ將來財政ノ紊亂ヲ生ジハセナイカト云フ、不安心ヲ懷カシメ、經濟界ニ大感亂ヲ起サセテ、當ニ將來延長ガムツカシイノミナラズ、國民民福ノ増進ニ障リハシナイカト云フ不安ヲ懷カシメテ、一大臣ノ首ヲ切ルデハナイ——其地位ヲ奪フテマデ俄ニ鐵道國有問題ヲ提出シ——狂ヒ廻ル程ノ問題デハナイト信ジマス、故ニ本員ノ反對ノ意見ヲ表スルタメニ概要ヲ述ベマシテ本案ノ否決セラレンコトヲ希望致シマス

○大戸復三郎君 本員ハ此鐵道國有法案ハ可決致スコトヲ望ミマス、本案ハ實ニ大問題デアリマシテ、簡單ニ之ヲ述ベルト云フ譯ニハ參リマセヌ、併シ自分ハ成ルベク適切ナル言葉ヲ以テ贊成ノ理由ヲ述ベマス、尙論者ガ頻リニ心配シテ居ラレル點ニ付キマシテ、聊カ反駁ヲ致シタイト思ヒマス、免ニ此鐵道國有ハ何ガ主眼デアルカト云フト、即チ管理ヲ統一スルト云フガ即チ本問題ノ主眼デアル、ソコデ之ヲ統一スル上ニ於テ、之ヲ國有ニスルト、私有ニスルト何レガ統一ノ上ニ於テ便利デアルカ、之ヲ解釋スルガ一番必要デアラウト思フ、ソレカラ總テ其以外ノコトハ生ジテ來ル問題デアラウト思フ、然ルニ本員ハ之ヲ統一スルコトハドウシテモ國有ニスルガ、一番宜イデアラウト思フ、是ハ極ク單純ノ理窟デゴザイマシテ、今日三十有餘ノ會社ガ、分離割據シテ皆各事情ヲ異ニシテ居ル、三十數會社ニ任セテ置クガ宜イカ、或ハ之ヲ國有ニシマシテ之ヲ同一ノ規律ノ下ニ支配スルガ宜イカト、之ヲ列ベ來シテ論ジマスル時分ニハ、言ハズシテ之ヲ一ニシテシマツタ方ガ統一上ニ宜イイト云フコトハ、理論ノ上ニ於テ明白々デアラウト思フ、デ論者ガ言ヒマスノハ、現在ノ私設會社ニ任セテ置イテモ、統一上ニ差支ヘルト云フ事情ガナイ、若シ統一ニ缺ケルトコロガアレバ法律ナリ命令ナリヲ出シテ、之ヲ補足スルガ宜イデハナイカ、然ルニ殊更私有ヲ奪フテ國有ニスルト云フ必要ガ何所ニアルカト云フノガ、即チ論者ノ最モ主張セラレルトコロデアリマス、併ナガラ如何ニセシ、私有ト云フモノハ大體根柢己レノ會社ヲ利シヤウト云フ營利ガ目的デアリマス、國民民福ト云フガ如キ一般ノ公益ト云フコトニ着目スル暇ハナイ、是ハ會社トシテ事情然ラザラ得ナイトコロデ、又當然ノコトデアラウト思フ、是ノ如キ狀態ニアルトコロノ私設會社ヲ、一律ノ下ニ羈束シヤウト云フコトハ、道理ニ於テモ、事實ニ於テモ、殆ド困難ノ次第デアル、又御承知ノ如ク此三十二會社ハ或ハ利益ノ最モ多イ會社モゴザイマセウ、又會社ニ依リマシテハ殆ド利益ノナイ會社モゴザイマス、此三十幾ツノ會社ハ各、其事情ヲ異ニシテ居ル、其會社ヲ一律ノ下ニ羈束シヤウト云フコトハ、是ハ徒ラニ唯難キヲ責メルト云フ次第デアリマシテ、殆ド私共ノ考デハ不可能ノコトデアラウト思フ、若シ強ヒテ之ヲ統一シヤウト云フナラバ、是ハ殆ド會社ノ利益ヲ打棄ニヤル結果ニナリマスカラ、如何ニ命令ヲ出シテモ之ヲ抑壓ス

ルコトハ出來ヌコトデアラウト思フ、果シテサウデゴザイマシタナラバ、是モ國有トシテ、サウシテ一律ノ下ニ支配シテ、一ハ公共ノ利益ヲ得ントスルトコロノ下ニ其機能ヲ發揮スル以上ハ、ドウシテモ國有ニスルコトガ利益デアルト云フコトハ、今更私ガ喋々スルニハ當ラヌヤウニ思フテ居リマス、誠ニ是ハ單純純ナコトデアラウト思フ、サウシマシテ之ヲ統一スルト云フコトハ、ドウシテモ私設ニ任セテ置イテハ、其目的ヲ達セス、敏活ノ機能ヲ發揮スルコトガ出來ルト云フコトモ、軍事上國防上ニ於ケル利益ト云フモノモ少クデナイト云フコトモ、亦論ヲ待タヌコトデアラウト思フ、成程今度論者ガ言ハレマシタ如ク、此點ニ付イテ多少又疑ヲ起シマセウガ、二十七八年ノ日清戰役三十七八年ノ日露戰役ニ於テ別段著シイ不便ヲ認メナイ、シテ見マシタナラバ、之ヲ私有ニシテ置クモ、軍事上、國防上、別ニ差支ハナイト云フ論モアリマセウ、併ナガラ若シ之ヲ國有ト致シマシタナラバ、層一層ノ便利ヲ見ルコトハ是又明カナ事實デアラウト思フ、幸ニシテ甚シキ支障ガナカッタデゴザイマセウケレドモ、若シ其支障ガアツタトスレバ、是ハ大變デアラウ、幸ニシテ支障ガナカッタカラ結構デアル、併シ左様ナコトニ依頼シテ置クコトハ、到底出來ヌノデアアル、又當局大臣カラノ答辯モゴザイマシタガ、免ニ角ドウシテモ所謂設備ヲ成ルベク整頓ラシ一定ラシテ、極ク秩序ノ二敏活ニ運搬スルト云フコトヲ平素ニ務メテ居ルト云フコトハ、最モ今日ニ於テ必要デアルト云フコトハ、本員ト雖モ最モ同感ヲ表スルモノデゴザイマス、然ルニ前述ベマシタ如ク其三十數會社ノ鐵道ハ、各、自營ニ汲々トシテ居ッテ、殆ド他ヲ顧ミル餘暇ガナイノデアアル、是ノ如ク私設會社ニ一任シテ置クト云フヨリハ、是ヲ國有ニ致シテ置クナラバ、軍事上國防上利益デアルト云フコトハ、是亦私ノ喋々ヲ待タヌコトデアラウト思フ、ソレカラ又果シテ此統一ノ實ヲ舉ゲルト云フコトニナリマシタ曉ニハ、經濟上ノ利益ハドウデアアルカト考ヘテ見マス、即チ運輸上ノ疎通、運搬力ノ増加、營業費ノ節約、運賃ノ低減、即チツレ等ノ事柄ガ引イテ生産力ハ發達ヲ助ケルコトニナルノデアアル、所ガ此運輸ノ疎通ト云フ事柄ニ付イテ、論者ガ言フトコロニ依レバ、現在ノ私設會社ニ任シテ置イテモ、運輸ノ疎通ハ立派ニ往クト云フコトデアリマス、若シ運輸ノ疎通ガ十分デナケレバ、法律命令ヲ以テ羈束シテモ宜イデハナイカト云ヒマスガ、是ハ矢張要スルニ統一カラ生ジテ來ル結果トシテ、一ニ歸スルナラバ、其運輸ノ疎通ガ付クト云フコトハ、是亦道理上明カナコトデアリマス、所謂分離割據シテ居ル會社ニシテ、其疎通ヲ能ク計レト命令ヲ致シテ見マシタトコロガ、事實ハドウモ是ハ疎通スルコトガ出來ヌト云フコトハ、往々實際ニ見テ居ルトコロデアアル、即チ運輸ノ上ニ於テ日時ヲ誤ルカラ、商機ヲ失スル、ソレガタメ直接間接ニ失敗ニ終ッテ居ルト云フ如キ事柄ハ、即チ其事例ガアルノデアリマス、幸ニシテ運輸ノ疎通ガ能ク得ラレテ、確實ニ運搬ノ實ガ舉グラレタナラバ、是ヨリ生ズルトコロノ直接間接ニ得ル利益ハ決シテ少クデハナイノデアアル、又線路ノ運搬力ノ増加ト云フ點ニ付イテ、ドウデアアルカト考ヘテ見マス、私設會社ト云フモノハ、所謂根柢ガ自營ト云フコトヲ目的ト致シマスガ故ニ、國家ト云フ上ニ眼ヲ着ケテ、線路ヲ延長スルトカ、或ハ複線工事ヲスルトカ、若クハ廣軌鐵道ニスルト云フガ如キコトハ、會社ニシテハ許サヌコトデアアル、言フベクシテ中々斷行ノ出來惡イコトデアリマスガ、一朝は國有ニ致シマシタ曉ニハ、其當然政府ガ親切ニ觀察ヲ致シマシテ、國民民福ヲ一意考ヘタ曉ニハ、能ク延長ヲ計リ、複線工事ヲ計リ、經濟ノ許ス限リ鐵道ヲ多クスルデアラウト思フ、

是亦運搬力ノ増加ト云フ點ニ付キマシテモ、國有ニスル上ニ於キマシテ、殊ニ利益ガ多
イダラウト思フ、ソレカラ第三ニ營業費ノ節約ト云フ點ニ付キマシテモ、是亦明カナル道
理デゴザイマシテ、是ヲ三十有會社ニサシテ置キヨリハ、是レヲ一ツニ纏メテ經營スル上
ニ於テ、經費ノ節約スルコト云フコトハ是亦事明ノ理デゴザイマシテ、或ハ數家ヲ一家ニ纏
メ、或ハ數會社ヲ一會社ニ纏メテヤルト云フ上ニ於テ、最モ其經費ヲ節約スルコトノ利
益ナコトハ、是亦私ハ當然デアラウト思フノデアアル、ソレカラ運賃ヲ低減スル上ニ於キマシ
テモ、是モ見易キ道理デゴザイマシテ、是ガ一ツニナリマシレバ、線路ガ延ビレバ延ビル程運
賃ガ從テ低減セラレルノハ明カナ次第デ、是ノ如ク軍事上經濟上カヲ見マシテモ、民有
ヨリ國有ニスル方ガ利益ノ多イコトハ疑ハサル餘地ガ殆ドナイヤウニ考ヘテ居ル、唯
ドウデアアルカト云フコトヲ、是マデ論者モ心配セラレ、吾々モ聊カ懸念ヲ致シマス點ハ外デ
ナイ、要ハ國有トナッタ以後、當局者ガ是ヲ經營スル上ニ於テ、果シテ今日斷言シテ居
ルガ如ク、經營ヲ能クナシ得ラレバ否ヤト云フコトガ一ノ疑問デアアル、唯今私ガ述ベマ
シタ如キ事柄ハ、道理ノ上カラ立派ニ利益ノアルコトハ、私ハ數ヘテ置イテ差支ナイ
コトデアアル、併ナガラ實際ニ於テ或ハ一ツニ纏メタメニ、餘リ事ガ大キクナッテ所謂大ニ
シテ振ハズ、殆ド行渡ラナイト云フガ如キコトガアリハセヌカト疑フ、今日政府者ガ斷言
スル如ク、國有ニナッタ以後是ヲ能ク經營スルヤ否ヤト云フコトガ一ノ疑問ニ歸着スルデ
アラウト思フ、併ナガラ是ハ餘リ政府ヲ見クヒタ説デアッテ、政府自カラ進ムデ是ヲ遂行ス
ル、斯ク政府者ガ言フ以上ハ、又是ヲ督勵スル途ガ決シテナイノデアハナイ、寧ロ民設ノ會
社ニ任シテ、局外ニ於テ嘴ヲ容レルコトガ出來ヌト云フ位置ニ置キヨリモ、國ニ持タシテ置
イテ是ヲ督促スルコト云フコトノ便利ノアル方ニ置ク方ガ宜カラウト私ハ思フノデアアル、ソレ
カラ論者ハ我國ノ經濟界ノ前途ニ付イテ非常ニ非觀ヲセラレタコトガアルノデアアルガ、私
ハ左様ニ我國ノ前途經濟界ハ左様ニ悲觀ヲ致シテ居ラス、我國今日ノ國力ト云フモノ
ノ發展ハドウデアアルカ、既ニ過日モ或ハ二一五年、七八年當時ノ經過ニ比較シテ
御論ニナッタ方ガアル、是ハ殆ド經濟界ノ事情ヲ御承知ナイノデアアル、今日經濟界ノ
發展ハ頗ル顯著ナルモノデアアル、殊ニ近時ハ此資本ノ共通ト云フコトガ、殆ド世界ニ廣
マデ居リマス、ドウシテモ吾々國民ハ今後ニ於テハ、飽マデモ積極的ノ方針ヲ以テ、進
歩ヲシテ國力ノ發展ヲ期シナケレバナラス、唯單ニ負債ガアルト云フデ、負債ノ聲ニ自ラ
歎息シテ國力ノ發展ヲ期セズシテ、ドウスルノデアアル、負債ガアル程進ム國力ノ發展ヲ
計ラナケレバナラヌノデアアル、又今日國力ノ發展ヲ計ルニ於テ大ニ餘地ガアル、即チ資本
ノ共通ト云フモノハ、社會的ニナッテ居リマスシ、隨分國力モ膨脹シテ居リマス、此時ニ
及シテ大ニ是ガ發展ヲ期シナケレバナラヌ場合デアアルカラシテ、私ハ論者ノ如ク斯様ニ
我國ト云フモノヲ悲觀ヲシテ居ナイノデアアリマス、或ハ此國有ノ結果公債ヲ濫發シテ、
其價格ノ維持ガ出來ヌト云フコトガ、餘程強イ議論ニナッテ居リマスケレドモ、私ハ寧ロ
政府ト所見ヲ同フシテ居ルモノデアッテ、決シテ事實公債ガ現ハレタコトガ、所謂ソ
レダケニハソレダケノ價ノアルモノデゴザイマスカラシテ、公債其物ノ性質ニ違ハヌデゴザ
イマセウ、ケレドモ是ノ如キ事柄ニ向ッテサウ悲觀スル道理ガ私ハ分ラヌノデアアル、又私ノ
考デアラナラバ、今後ニ於テモ生産的發達ニ資スルノデアリマスカラ、借錢ハ大キクスルガ
宜イ、借錢其者ハ決シテ恐ル、ニ足ラヌ、又怖イノデアハナイノデアアル、即チ借錢ヲスル土

臺ノ如何ニアアルノデアリマスカラ、是カラ我國ノ生産的發達ノ上ニ於ケル作戦モ多々アル
コトデゴザイマセウガ、此借錢ガ生産的發展ニ向ッテ進ムタナラバ、私ハ決シテ憂フル
コトハナイト思フ、既ニ今日ハ公債ガ二十數億ト云フモノガアル、其上ニ此國有ノタメニ又
多クノ公債ヲ發行シテドウスルカト云フガ如キコトハ、彼是混同シタ議論デアルト思フ、決
シテ今日發行シテ居ル二十數億ノ公債ト、鐵道國有ノタメニ募集スルコロノ公債トヲ
同一視スルコトハ出來ナイノハ、私ガ喋々シナイデモ、既ニ論者モ御承知ノコトデアアル、加
之私ハ此株券ニ代フルニ公債ヲ以テスル結果ハ、是ヲ旨ク運轉ヲスルナラバ非常ニ私ハ
生産的ノ發達ヲ助ケルデラウ、即チ株主ナルモノガ四億、五億、ノ公債ヲ株券ノ代リニ
貰フ、又中ニハ世襲的財產ニスル人モアリマセウ、又中ニハ五分ノ利子ニハ満足セズシ
テ、能ク運用シテ一割乃至一割五分ノ利子ノ付クモノニ運轉スル人モアリマセウ、寧ロ
私ハ其方ガ多イト信ジマスルガ、其實タ公債ヲ旨ク運轉ヲシテ任キマシタナラバ、即チツ
レガタメニ事業ノ勃興ヲ促スノデアアル、ソレガ即チ生産發達ノ上ニ資スル點ハ、寧ロ公債
ノ價格ト云フコトノ心配ヨリモ、其方ヲ旨ク運用シテサウシテ此生産ノ發達ヲ増進スル
トコロノ利益ガ、大ナルモノデアハナイカト思フノデアアル、又今日ノ有様ハドウデアアルカト申シ
マスト、是ヲ私設會社ニ致シテ置キマスト、御承知ノ如ク外人ノ資本ト云フモノガ相當
ニ入ッテ居リマス、又外資ノ吸收ト云フモノヲ頻リニ努メツ、アリマスガ、サウ致シマスガ、
是ヲ國有ノ有ニ歸シテ置キマシテ、國ガ或ハ五分拂ヒト云フ一定ノ公債ヲ發行シテ置クノ
ト、ソレカラ是ヲ各私立會社ニ任シテ置イテ、各私立會社ノ或條件ノ下ニ將來續々外
資ヲ入レマシタナラバ、其外資ハ如何デゴザイマセウ、即チ國ノ利益ヲ減殺セラレト云
フ結果ニ陥ルノデアアル、ドウシテモ私立會社ノ信用ヨリ政府ノ信用ガ厚イト云フコトハ、
是ハ明カナ道理デアアル、ソレカラ又此鐵道ノ前途見込ナル鐵道ノ株券ト云フモノハ、
漸次外人ニ占メラレテ居ル、現狀ガ今日見ヘテ居ルノデアアル、是亦一國ノ上カラ申シマ
タナラバ喜ベキコトデアハナイノデアアル、寧ロ一定ノ利子ノアルコロノ公債ヲ持タシメタ方
ガ宜シイカト思フノデアアル、斯様ナ次第デゴザイマスカラシテ、是ヲ國有ト致シマシテ、直
接間接ニ是等ノ豫防ヲ計ルト云フコトハ、最モ私ハ今日ノ時機トシテ如何ニモ急中ノ急
務ト信ジテ居ルノデアアリマス、論者ハ國有主義ハ如何ニモ贊成デアアルケレドモ、二十數
億ノ負債ヲナシテ居ル今日、是ヲ斷行スルコトハ其時機デナイ、斯ウ云フコトデゴザイマ
スガ、私ハ前述ベマシタ如ク、今回ノ公債ト云フモノハ、二十數億ノ公債ハ、全ク發行
ノ原因ガ異ッテ居ルノデアアル、斯様ナコトハ毫モ心配スル必要ハナイ、又此一人ノ經濟デ
見ルモ、何モ負債ハ決シテ怖イデヤナイ、宜シク其負擔ヲシテ少シク手ヲ張ッテ、事業ヲ
擴張シテ仕事ヲスルガ宜シイ、十萬圓ノ仕事ナラ十萬圓ノ金ヲ以テ商業ヲスル、其以上
借錢ヲスルコトハ出來ナイト云フガ如キ意見ヲ持ッタナラバ、更ニ發達ハ出來ナイノデア
アル、決シテ借錢其者ヲ心配スルコト云フコトハ大ナル間違デアアル、是ヲシテ能ク運轉スル
否トニアルノデアアルカラ、是ハ時機デナイノデアハナイ、今日ハ是ヲ國有ニスル最モ好キ時機
デアアル、然ルニ論者ハ國有ニスルハ宜イケレドモ、今日ハ其時機デナイト云フノハ、其見
解ヲ誤ッテ居ルモノト思フ、ソレカラ又論者ハ私權ノ侵害ト云フコトニ議論ガアリマシタケ
レドモ、是ハ私ハ取ルニ足ラヌ議論デゴザイマシテ、吾々ハ今日鐵道國有ヲ必要ト認メル不
必要ト認メルト云フ是ガ論ノ別レデゴザイマス、國有ハ必ず必要デアアル、公益ノ上カラ必

要アルト認メタ以上、即チ是ガ法律ヲ制定スルニ、國家ガ私權ヲ侵害スルコトハ毫モナイノデアル、獨リ憲法ノ二十七條ノ第二項ニ規定シテアル事柄ハ、既往ノ事柄ハカリデハナイ、將來ト雖モ即チ公益上必要ト認メル場合ニ於キマシテハ、何時デモ法律ヲ制定シ、其制定シテ法律ニ依ッテ國家ガ私權ヲ侵害スルコトハナイ、決シテ憲法ニ違反スルコトハナイノデアルト信シテ居ル、國有ハ必要アルヤ否ヤト云フコトヲ、茲ニ定メル必要ガアル、其必要ヲ認メタ以上、是ガ法律ヲ制定スルニ何ノ妨ケハナイノデアリマス、ソコデ以上論ジマシタ如ク、吾々ノ信ズルコトコトデハ、是ヲ國有トスルニ於テハ常ニ斯ウ云フ論ガアルト考ヘル、或ハ政府ヨリ參考シテ廻ハシテ居ルコトコトモ、或ハ政府ノ説明甚ダ要領ヲ得ナイカラ信ヲ措ケナイ、如何ニモサウ云フテ見レバ、皆悉ク不安心デゴザイマセウガ、併シ唯ミハ不安心デアル、甚ダ信ヲ措ケナイト云フガ如キハ、殆ド取ルニ足ラヌト思フ、若シソレヲ言フナラバ、反駁スルダケノ此方ニ材料カ具ヘテ、サウシテハ斯ウ云フ譯デアル、斯ウナルト云フ如キ具體的ニ是ヲ反駁スルコトガ出來レバ兎ニ角、政府ガ國有ニスル材料ヲ調査シテ、是ヲ行フノデアルカラ、先ヅ吾々ハ間違ノナイモノト信ズルヨリ他ハナイノダロウト思フ、唯斯ウシテハ心配デアル、前途ハドウデアルト云フ事柄ヲ以テ、是ヲ反對スルノナラバ、何事モ皆躊躇シナケレバナラス、故ニ私ハ諸君ト共ニ心ヲ大キク有ッテ將來是ノ如キ問題ハ多クナイトハ思ヒマスガ、將來ハ有益ト認メタモノハ、大ニ借金ヲシテ大ニ仕事ヲスルガ宜イ、決シテソナ少サナ考有ッテ、事ニ當ルヨリハ一ツ大キク世界的ニ事ヲヤラナケレバナラヌト思フ、斯ル次第デゴザイマスカラ、今後共サウ云フ事柄ハ宜イト云フ以上ハ、私ハ斷行シテ將來トモヤルガ宜イト云フ考有ッテ居リマス一人デゴザイマスカラ、以上贊成ノ理由トシマシテ意見ヲ述ベタ次第デゴザイマス

○政府委員工學博士平井晴二郎君 先刻淺野君ノ本案ニ對スル反對ノ御意見ヲ述ベラレマシテ、是ヲ本員モ拜聽致シマシタ、此御意見ニ對シテ申上ゲタイコトガアリマスガ、是ハ今申述ベル必要モアリマセヌト考ヘマスガ、其中ニ官設私設トノ營業收入ト營業費トノ割合ニ付イテ述ベラレマシタル數字ニハ、大ニ間違ガアルト思ヒマスカラ、其事ハ一言私カラ申上ゲタイコト存ジマス、淺野君ノ述ベラレマシタルニハ、官設鐵道ハ百圓ノ收入ニ付イテ、八十八圓某使ッテ居ル、是ニ反對シテ私設ハ百圓ニ對シテ四十何圓ト云フモノヲ使ッテ居ル、恰モ官設鐵道ヲ私設鐵道ニ比較スルト、倍ノ費用ヲ要シテ居ルノデアルト云フヤウニ言ハレマシタガ、如何ナル御算法ヲ以テ是ヲ御割リ出サレタノデアアルカハ私ハ存ジマセヌガ、實際ノトコロヲ申述ベテ置キタイト思フ、二十四年度ハ官設鐵道ハ百圓三對シテ四十九圓七十九錢使ッテ居ル、三十五年度ハ四十圓四十四錢使ッテ居ル、三十六年度ハ四十九圓二十二錢使ッテ居ル、三十七年度ハ四十四圓二十一錢使ッテ居リマス、是ニ對シテ私設鐵道ハ三十四年ガ四十七圓四十錢、三十五年ガ四十八圓五十九錢、三十六年ガ四十六圓十六錢、三十七年ガ四十五圓七十五錢使ッテ居ルノデアリマス、又此場合ニ添ヘテ申述ベタイト申シマスノハ、官設鐵道ノ營業費ハ決シテ私設鐵道費ニ比ベテ餘計ナモノハ使ッテ居ラヌト云フコトヲ、數字ヲ以テ諸君ノ御參考ニ申述ベタイト思ヒマス、ソレハ過日武富君ノ御質問ニ對シテ、私ガ大體ニ付キマシテ縷々答辯ヲ致シマシタ如ク、第一線路ノ狀態ト云フモノ、如何ニ依ッテ、營業費ノ差ガ非常ニ違フト云フコトヲ申述ベマシタ、其線路ノ狀態ト云フコトハ、ドウ云フコトカト申シマ

スレバ、鐵道線路ノ上デ人間デモ或ハ貨物デモ一噸ノモノヲ引張ルノニハ、ドレダケノ力ヲ要スルカト云フヲ比ベマスルノデアル、ソレヲ今官設ノ東海道線、北陸線、信越線、是等ニドレダケヲ要スルカト云フト東海道八十八斤ノ力ガアレバ一噸ガ引ケル、北陸線ハ二十三斤餘ノ力ガ要ル、信越線ハ二十七斤ノ力ガ要ル、然レニ私設鐵道——日本鐵道ハ十八斤アレバ是ヲ引キ得ル、山陽ハ十六斤デアル、關西ハ十九斤デアル、九州鐵道ハ十五斤デアル、是ヲ引キ得ルノデアル、即チ是ノ如キ同ジ荷物ヲ引クノニ、線路ノ狀態ニ依ッテ是程違フノデアリマスカラ、力ノ高ガ——ソレデ官設鐵道ガ營業費ガ高イノデナクテ、官設鐵道デナイ一方ハ私設鐵道デアルガ故ニ、營業費ニ是ノ如キ差ヲ生ズルノデアッテ、線路其ノモノ、實質ガ違フカラデアリマス、官設鐵道ハ比較的難儀ナ所ノ線路デ即チ、建築費モ餘計要ル、又營業費モ澤山ナモノヲ要スルコトコトヲ鐵道ヲ有ッテ居ルノデアリマス、ソレデ此間武富君ノ仰シヤウニ、線路一哩ニ對シテ官設ト私設ト比較スルト、如何ニモ二割七分バカリ餘計ナ費用ヲ使ッテ居ル去リナガラ是ヲ假リニ其線路ノ上デ運轉ヲシテ居ル列車ノ哩ニ依ッテ計算シテ見タト云フト、官設鐵道ハ百哩ノ運轉ニ付イテ十二圓要スル、是ニ對スル私設鐵道ハ總テ平均シタモノハ四十九圓要スル、此二點ヲ比ベルト、線路一哩ニ對シテハ、今申上ゲタ如ク、二割七分ノ餘計ナ費用ハ要スルケレドモ、列車一哩官營業費ヲ比較シタナラバ、是ガ僅カニ一割九分ノ増ニナルノデアリマス、尙是ヲ一層確實ナル基礎ニ付イテ計算スルト、即チ人、噸、哩、即チ運輸ノ數量ニ依ッテ計算シタナレバ、官設鐵道ノ一人噸哩ノ費用ハ、七厘三毛八朱ヲ要スル、是ニ對スル私設鐵道ハ如何ト調ベテ見マスレバ、七厘八毛八朱ヲ使ッテ居ルノデアアル、茲ニ至ッテ最モ各鐵道ノ專門家ニ就イテ營業費ノ計算ヲスルニ、最モ確實ナル基礎ト認メル運輸ノ數量ヲ人、噸、哩、ニ依ッテ計算スルト、官設鐵道ノ方ハ殆ド百分ノ六ホド廉イト云フヤウナ計算ガ出テ居ルノデアリマスカラ、先日來官設鐵道ノ營業費ハ非常ニ高イ、私設鐵道ノ營業費ハ非常ニ廉イト云フコトヲ縷々述ベラレマシタ方モアリマスガ、是ハ決シテ官私ノ區別カラ起ルモンデハナイ、鐵道其物ノ性質即チ線路ノ狀態運輸ノ數量列車ノ回數ト云フモノガ、非常ニ差ガアルガ故ニ、是ノ如キ差ヲ生ジテ居ルノデ、官私ノ區別ノタメカラ起ルノデハナイ、鐵道其物ノ實質ガ違フホド、斯ウ云フ結果ヲ見ルノデアルト云フコトヲ、序ニ諸君ノ御參考ニ供シテ置キマス

○加藤政之助君 私ハ此際餘リ長クナイ簡略ニ反對意見ヲ述ベヤウト思フノデアリマス、唯今大戸君ハ鐵道國有贊成論ノ理由ニ三四御述ベニナリマシタカラ、ソレニ付キマシテ先ヅ少シバカリ其論理ノ違ヒアル點ヲ述ベテ、サウシテ私ノ說ヲ簡略ニ述ベヤウト思ヒマスノデアリマス、大戸復三郎君ノ說ニ依レバ、鐵道統一ハ今日極メテ必要デアル、然レニ今日ハ鐵道——小鐵道會社ガ全國ニ散滿シテ居ッテ、是ハ何レモ營利ヲ目的トシテ居ルモノデアアルカラ、斯ウ云フ公益ニ反スル公利公益ヲ舉ゲヤウトスレバ、官設デナケレバナラヌ——イカスト云フ議論デアリマシタガ、私ハ左様ニハ考ヘナイノデアアル、天下多數ノ事業悉ク是ハ皆利益ヲ營ムト云フ主意カラ出デアルハナシ、若シ大戸復三郎君ノ說ヲシテ當然ノ理窟ナラシメバ、天下ノ事業ハ悉ク官有シテ、是ヲ政府ノ手ニ收メレバ公利公益ガ、收メラレヌト云フ不便ガアル、所ガ天下ノ鐵道ハ是ノ如キ理窟ヲ以テ是ノ如キ事業ハ皆私利ヲ目的トシテ成立シテ居ルケレドモ、其公利公益ヲナシテ居ルコトハ

極り切つた經濟ノ理窟アル、何故ナレバ唯財ヲ目的トスル公利公益ノヤウデアレケレドモ、此私利ヲ目的トスル多クノ人ミガ、集マツタニ競争スルノデアアル、利益ヲ收メルコトモ出來ルケニハ競争シテ、天下ノ公衆ノ便利ヲ計ルト共ニ御客ヲ多ク引付ケル、是等ニ依テ私利ヲ目的トスル事業ガ、自ラ公益ヲ上ケルノデアアル、ソレデアアルカラ天下ノ事業必シモ是ヲ官ノ手デ營マナクトモ、公益ヲ舉ゲルコトガ出來ルト云フコトハ、明カデアアル思フ、而シテ多數會社ガ小會社カ集マツテ居レバ、統一ニ不便デアアル、其理窟ハ私ハ承認スルノデアアルガ、併シ政府デ買上ナケレバ統一ノ出來ヌト云フコトハナリ、天下經財ノ理窟ニ依テ若シ是ノ如キ不便ヲ會社ガ悟ツタナラバ、自ラ合同スル時機モアル、既ニ今日ハ自ラ合同ノ必要ヲ悟ツテ其計畫ヲ立テツ、アルコトモ聞イテ居ル、サウスルト是ヲ官設ニシナイデモ、自ラ統一シ利便利益ヲ舉ゲルコトノ出來ルモノデアアルト云フコトハ、誠ニ明カ白キデアアルト思フ、次ニ軍事上ノコトヲ云々言ハレマシタケレドモ、此間陸軍大臣ハ私設ノ實力ノナリ小會社カラ、類似シテモ欲望スルケルコトハ行ハレヌ、ソレ故ニ國有ニシテ其設備ヲ全フスルト言ハレタガ、是ハ其設備ヲ全フスルコトノ出來ルケル資金ヲ政府ガ投ズルコトガ出來ルカト云ヘバ、今ノ經濟ノ上ニ於テハ、御承知ノ通りソレダケノ費用ヲ投ズルコトノ出來ヌハ明瞭デアアル、故ニ是ハ矢張合同サセテ有力ナ會社ニシテ、關東ハ關東、關西ハ關西、若シハ九州ハ九州ト區別シテモ宜シ、其位ニ合同シテ有力ナ會社ニナツタナラバ、政府ガ慾望スルケル設備改良ヲナスコトハ自ラ現ニ吾々ノ先進國タル亞米利加、英吉利ノ如キ鐵道ハ私設デアアルノニ、軍事上何等ノ故障アルト云フコトハ、今日マデ私ハ新聞紙上ニ於テハ勿論ノ話シ、政府當局者ガ不都合ト云フコトヲ證明サレタコトヲ聞イテ居ラヌ、又過去ノ我國ノ事實モ陸軍大臣ノ述べラレタ如キ、不都合モ格別認メナイ、必シモ國有ニシナケレバナラヌト云フ其目的ヲ達セラレヌコトハアルマイト思フ、殊ニ大戸君ハ借金ハ幾ラシテモスルガ宜シト云フ話デアリマスガ、時ノ事情ハ其時ノ境遇ニ依テ、借金シテ金ヲ使ウコトモ隨分宜ウザイマセウ、併ナガラ今日ノ如キ鐵道ヲ買上ゲテ、官有トスルガタメニ借金ヲシテ使ウノガ、日本ノ物產ヲ發達セシメテ、貿易ヲ振張スル上ニ於テ、非常ニ役ニ立ツト云フコトハ疑ハシ、大戸君ノ説モ是カラ新タニ必要ナ場所ニ鐵道ヲ延長スルタメニ、借金ヲスルコト云フコトデアッタナラバ、適當スルデアアラウト考ヘマスガ、此場合ニ依テハ不適當ナ場合ナリト言ハザルヲ得ヌデアリマス、ソコデ搖擻シテ私ノ説ヲ申シ上マスガ、此國家ノ事業ト云フコトハ、昔未開ノ時代封建ノ時代ニ於テハ、詰ラヌコト、吾々ガ見マスルコトデモ、借金シテ經營シタ先例ハアルデアリマスガ、併ナガラ段々國民ノ智識モ進ミ、學理モ進ミ、サウニ云フコトハ然ルベカラズト云フコトハ、次第々々ニ廢メテシマツテ、今日僅カニ此國有トスルガ宜カラウト云フ位ノ仕事ハ數ノ極クマツタ話デアリマス、今日ハ既ニ鹽モ專賣スル、煙草モ專賣シテ居ル、又鐵道モ國有ニスルノガ、學理ニモ適當デ居ルト云フ風ニ、盡ク區別セズシテ政府ノ都合ニ依テ、官業ニサル、ト云フヤウナコトデゴザイマスケレドモ、此傾向ハ甚ダ面白クナイト思フデアアル、私ハ強チ此國有主義ノ總テノモノニ反對トハ言ハナイ、或然ルベキモノヲ選シテ、然ルベキモノ、數ヲ限デヤルト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ收入ノ都合尙公衆ノ便利上、或ハ宜イデアリマセウガ、併シ今日ノ如ク其物ヲ選バズシテ、ドシノヤルト云フコトハ、甚ダ宜クナイト思フデアリマス、殊ニ私ノ第一ニ疑フハ先刻私共ノ同

論者カラ述ベラレタ通デス、此鐵道ヲ政府ガ國有ニシテ、而モ或線路ヲ限デヤルト云フコトナラ宜シイケレドモ、サウデナク日本全國國有ニスル、交通機關ヲ國有ニスルト云フデアリマスカラ、今日ノ經濟ガソコマデ進シテ居ラヌ日本ハ、將來何万哩ノ鐵道ヲ敷設シナケレバ、マダ満足スルコトハ出來ナイ、餘程多クノ鐵道ヲ敷設シナケレバナラヌ、其何万哩モ將來國家ガ擔任スルト云フコトデアリマスガ、亞米利加ノ鐵道合同シタト云フコトノ歴史ヲ御承知ノ諸君ハ、既ニ知ラレテ居ルト思フ、其當時或鐵道家ガ主張サレタノニ、是ダケノコトナラ吾々ノ財力デナシ得ルガ、此以上總テノ哩數總テノ鐵道ト云フモノヲ、一ツニ集メテ是ヲ遍ク統禦シテ往クト云フコトハ、普通ノ頃デハナシ得ヌコトデアアルデアアルト云フコトヲ言ハレタコトヲ聞イテ居ル、此理窟カラ推シテ見ルト、私ハ日本ニモ幾ラ鐵道ノ豪傑ガアルカ知ラヌケレドモ、是ノ如ク鐵道ヲ綜合シテ、是ヲ誤リナク統禦シテ公衆ノ便宜ヲ集メ、國家ノ利益ヲ舉ゲルコト云フコトハ、恐クハナシ得ヌデアラウ、既往ノ經驗ニ對シテハ殊ニ疑ハシト信ズルデアアル、此點カラモ今日ノ財產ノ上ニ於テハ、過日來ノ大藏大臣ノ答辯、又贊成者ノ説モ是ハ當然ナリト認メラレノデアアル、大藏大臣ハ幾ラ公債ヲ發シテモ、否ナ、向フ五箇年間ニ此四億七千萬圓ノ公債ヲ發シテモ、他ノ一方ノ財政ノ缺陷ヨリ生ズル公債ヲ發行シテモ、格別下落ノ虞ハナリ、現ニ公債ニ應ジタイト云フコトハ、餘金ガアッデ公債ノ發行ヲ俟チツ、アル有様デ、アルカノ如ク言ハレマシタガ、是ハ唯現在ノ事實ノミヲ見テ、將來ヲ少シモ考ヘナイコロノ議論デアアル現在國民ノ懷ニ公債ノ吸收力ガアルト言フガ、是ハ何故デアアルカ、私ハ考ヘル政府ガ此日露戰爭ノタメニ、斯ク數年間ニ於テ巨額ノ金ヲ使ヒ、外國カラ巨額ノ借金ヲシテ、此金ヲ日本全國ニ散布シツ、アルカラ、今日國民ノ懷ニ餘裕アルガ如クニ見ヘルノデアアル、現ニ今年モ若ク協贊セラレタ如ク、通常ノ歲入出ニ較アレバ、六億ト云フ過分ノ金ヲ今日消費シツ、アルノデアゴザイマセヌカ——政府ガ支拂シツ、アルノデアゴザイマセヌカ、此金ガ國民ノ懷ニ這入ル、是ガ這入レバ餘地ガアルト云フコトハ極マリ切ツタ話デアアル、然ルニ明年ハ如何デアアルカ、吾々ハ如何ニ積極主義トハ申シナガラ、明年尙此通常歲出入以上ニ五億六億ノ金ヲ使フコトガ出來ルデアラウカ、恐ラク諸君ハ皆不同意デアラウ、然ラバ明年ニ至レバ舊ニ復スルノデアアル、政府ガ精々四億カソコノ金シカ使ヘヌデアアル、シテ見レバ今ノ如ク國民ノ懷ニ餘裕ガ有ルカ、私ハ無イト思フ、シテ見レバ公債ヲ今日發スレバ、吸收力ガアルデアアラウガ、明年發行スルトキニハ、國民ノ懷ニハ吸收力ガ無イ、サウスレバ外國債ヲシナケレバナラヌ、外國債ヲスレバ金ガ這入ルカ知レマセヌガ、是ハ前ニ申ス通り元利共正金デ拂ハナケレバナラヌ、正金デ拂ハナケレバ外國債ガ年々増シテ往ク、年ニ七千万以上ハ正金デ利息ヲ拂ハナケレバナラヌ、是ニ貿易ノ收支ノ差、輸入加除ノ差ヲ加ヘタナラバ、ドンナニ少ク見デモ一億以上ノ正金ヲ拂ハナケレバナラヌ、今日政府ガドレダケノ正貨準備ヲ持ッテ居ルカト云ヘバ、吾々ノ聞クトコロニ依レバ、日本銀行ガ手ニ握ッテ居ルトコロノモノガ、僅ニ三千万カ四千万デアアル、是ニ外國ニ在ルモノヲ附加ヘテ、一億以上ニシテ居ルト云フコトヲ聞イテ居ル、是ノ如キ正貨準備デ是ガ若シ若干年續イテ往ツタナラバ、ドウシテ外國ニ其元利ヲ正金デ拂ッテ往クトガ出來ルカ、吾々ハ左様ナ不慮ナコトヲ大藏大臣ガ續ケテ往ツタナラバ、誠ニ嘆ズベキ此不換紙幣ト云フコト、事實ガ、發現スルコトノナイト云フコトハ期セラレヌデアアル、此點ヲ

吾々ハ非常ニ心配スルノデアリマス、デ先刻大戸復三郎君ガ此五分ノ公債ヲ發シテ政府ガ鐵道ヲ買フ、サウスルト云フト此公債ヲ利用シテ、一割以上ノ利益ニ當ルヤウナ仕事ニ、國民ガ金ヲ使フノデアラウト言ハレタガ、是ハ大變怖イノデアル、是ガ公債ノ下落ヲ來タス原因ナシテアル、何トナレバ一方ニ公債ヲ政府ガ續ク發シテ、其分量ガ多クナル、而シテ此受取ツタ株主ガ、其五分ノ利息ニ満足セズシテ、外ノ仕事ヲシヤウト云フニハ、勢ヒ此公債ヲ賣ナケレバナラヌ、サウスルト分量ノ多イモノヲ續ク賣出セバ、此公債ノ下落スルト云フコトハ自然ノ傾アル、ソコデ私ハ大藏大臣ノ言ハレル通り、國民ノ懷ニ公債ノ吸收力ガアルト云フコトヲ信ズルコトガ出來ナイノデアル、若シ此公債ヲ鐵道株券ニ替ヘテ受取ツタモノガ、悉ク握リテ居ルモノナラバ私ハ恐レナイガ、若シ五分ノ利息デハナケイ、八分若クハ一割ノ利益ヲ取ラウト云フニハ、ドウシテモ公債ヲ募ラナケレバナラヌ、公債ト正貨トハ違フノデアル、サウスルト是モ實ニ恐レベキ點デアルト思フノデアリマス、其他昨日質問致シマシタラバ、當局者ノ言フトコロニ依レバ、此鐵道ノ買上ハ公益ガ目的カ、收入ガ目的カト申シタラバ、寧ロ公益ヲ目的トスルコトガ重イヤウニ御説明ガアッタノデアル、果シテサウスルト云フト、是ハ兩立ノ出來ナイ話デ、收入ト此公益ト云フコトハ、兩立ガ出來ナイ、一方ニ重キヲ置ケバ收入ハドウシテモ幾ラカ減ズルト云フコトニナラナケレバナラヌ、又收入ニ重キヲ置ケバ此國家ノ公益ノタメニ、鐵道ヲ改良シテ賃金ヲ下ケル、運輸ヲ便ニスルト云フコトヲスルノガ自然ノ結果デアリマス、然ルニ政府ノ當局者ノ言フトコロニ依レバ、公益ヲ進メルコトニ重キヲ置クト云フガ、サウスルト益々此賃金ヲ引下ケル資本ト云フモノガ今ノ計算ニハ見ヘテ居ラヌガ、是ヲ明カニ是ダケノ額ハ低減スル積リタト云フ額ガ、現ハレテ來ナケレバナラヌ、又設備ハ是ダケニスルト云フノデ、設備改良ノ費用モ現ハレテ來ナケレバナラヌ、ソレヲ現ハサヌ以上ハ政府當局者ハ虛偽ノコトヲ言フテ吾々ヲ瞞着スル言葉ト言ハナケレバナラヌ、是ガ吾々ノ見ルトコロニ依ルト、政府ガ公益ニ重キヲ置クト云ヒナガラ、其言葉ヲ事實ヲ證明セラレヌコト、私共考ヘルノデアリマス、而シテ若シサウスルト往クト云フト、サナキダニ當該者ノ營業稅ト云フモノガ、百万圓以上減ズル、是ハ國家財政ノ最モ明瞭ナル缺陷デアル、今ノ收支ノ計算ニ依ッテ、公益ノ便利ヲ進メルト云フ主義デアッタナラバ、今ヨリハ恐ラク餘分ノ金ガ要ルデアラウト思フ、サウスルト云フト此鐵道ヲ國有ニシタメニ、財政ノ上ニ於テハ非常ナ缺陷ガ生ズト言ハナケレバナラヌ、幾百万ノ缺陷ガ生ズル事ガ明瞭デアラウト思フ、既ニ政府ノ出シテアル計算通りニシテモ、初年ハ何ノ金モナイノデアリマスカラ、ソレニ百幾万ト云フ營業費ガ多ク要ル、其他種々ナル費用ヲ要スルノデアルガ、ソレガ見積リテナイ、公益ノ便ヲ計ルト云フ資本ノ財源ガ何處ニアルカ、サウスルト國有ニシタメニ、財政ノ缺陷ガ益々太クナルモノト言ハナケレバナラヌ、今日ノ如キハ財政ヲ整理シテ益々缺陷ヲ少ナクシテ、收支ヲ償ハセルト云フコトガ財政當局者ノ最モ必要トスル時機デアリマス、然ルニ此時機ニ於テ鐵道ヲ國有ニシテ、財政ノ缺陷ヲ益々大ナラシムルト云フコトハ、是ハ國ノ財政ヲ紊亂シ、其財政ヲ危フスルトコロノ不當ノ處置デアルト言ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、其次ニ尙申上ゲマスレバ、種々様々アリマス、權利ノ蹂躪モアレバ、鐵道ノ延長ガ是デ全ク止マッデシマウト云フ結論モ出來ルノデ、種々議論ガアリマスケレドモ、此處ニ於テ私ハサウスルト云フ討論スル必要ハナイ、諸君ガイッレモ數日ノ質問ヲ重ネテ、

アラユル研究ヲサレタ諸君デアラカラ、此理由ハ御分リニナッテ居ル、故ニ諸君ニ向ッテ長々訴フルノ必要ハナイト思ヒマスカラ、私ハ簡略ニ是ダケノ反對ノ要領ヲ述ベテ、尙本會ニ於テ十分ニ議論ヲ致ス積リデアリマス

○長崎登君 私ハ此鐵道國有法ニ贊成スル一人デゴザイマス、淺野君、加藤君ヨリ種々御議論ガアリマシテ、一々ソレニ對シテ議論ヲ致シタイ積リデアレドモ、併ナガラ兩君共ニ實ニ錯雜シタル御議論デ、箇條トシテ是ヲ論ズルト云フコトハ私ニ取ッテハ甚ダ困難デアラカラ、私ハ私ノ信ズル説ヲ述ベテ私ノ主張ト併セテ駁撃ヲ加ヘル積リデアル、第一ニ私ノ論ズルハ鐵道ハ統一セヌケレバナラヌト云フ理由ニ付イテハ三ツアルノデアル、即チ軍事上ノ必要ヨリ又公益ノ便宜上カラシテ必要デアル、又設備及營業上ノ經濟ヲ計ルガタメニ必要デアルノデアル、此三點ヨリ統一ヲ必要ヲ認メルノデゴザイマス、其統一ノ方法ハ是ヲ「一トラスト」的ノ會社ニスルト云フ論者モアリマスガ、私ハ是ニ對シテ國有デナクテハナラヌト云フ説ヲ有ッテ居ルモノデゴザイマス、第一軍事上カラ申シテ見マスレバ、論者ハ日露戰爭ノ結果ニ依ッテ見レバ、差支ハナカッタト云フコトヲ言ハレマスルガ、私共ノ目カラ見レバ、其不十分ナル狀況ヲ敵ニ悟ラセナカッタト云フニ歸著スルノデアルト思フ、其當時デスラモ不十分極タモノデアルト云フコトヲ認ムルノデアル、假ニ日露戰爭ノ際ニ於テハ不都合ハナカッタトシテ見デモ、將來ノ軍事上ノ設備ハドウデゴザイマセウ、日露戰爭ノ際ニ於テハ百万ノ動員ヲシタト云フ、ソレデ以テ足りテアルケレドモ、將來ノ戰爭ニ於テハ百万或ハ百五十万ニナル、或ハソレ以上ニナルト云フコトハ明白ナル次第デアッテ、是等ニ對スルニハ此運輸上ノ進歩發達ト云フコトヲ期シテ以テ其事業ニ着手セヌケレバ將來ノ希望ニ相副フコトハ出來マスマイト思フ、露西亞ト云ヒ其他ノ國ト云ヒ、必ズ此運輸上ニ付テハ幾多ノ進歩改良ヲ加フルニ相違ナイノデアル、我國モ是ト相待ッテヤラヌケレバ、到底將來ノ發達ヲ期スルコトハ出來ヌノデアル、然ルニ今日ノ設備ガ會社ノ營利ノ事業ニ相副フヤ否ト云フコトヲ見マスレバ、種々ナル點カラシテ或場合ニ於テハ、政府ハ大ナル支出ヲ要スルノデアル、ソレニ對シテ十分ナル仕事ヲヤルニハ、若シ是ヲ私設會社ニ任シテ置イテ、以テ行政權ノ命令ニ依ッテヤルト云フコトニナッタナラバ、會社ノ利益ヲ犧牲ニ供シテ、殆ド私權ノ蹂躪ニ近キトコロノ命令ヲ下サヌケレバ、到底其目的ヲ達スルコトハ出來ナイト思フ、其一例ヲ舉ゲテ言ッテ見レバ、假リニ彼ノ房總半島ハ一ノ陸軍上ノ主要ナル土地ニナッテ居ルト云フタナラバ、是ニ對スル設備ハ當然セヌケレバナラヌ、然ルニ其房總ノ或地方ノ便利ナ所ニ持ッテ往ッテ、大停車場ヲ第一置クト云フ必要ガ、陸軍ノ上ニ取ッタナラバ必ズ必要デアルト假定シタナラバ、サウスルト云フモノヲ他ノボロ／＼會社ニ命令シテ設備セシムルト云フコトハ、會社其者ノ營利上ニ取ッテハドウデゴザイマセウ決シテ出來ルコトハナカラウト思フノデアル、是等ノ點ヲ見レバ軍事上ヨリシテ鐵道ノ統一ハ是非セヌケレバナラヌト云フコトハ、明白ナル次第デアラウト信ズル、又公益ヨリシテモサウスルト、公衆ヨリスレバ先般來モウ既ニ此議場ニ現レテアルガ如ク、統一ヲ以テ長距離ノ運輸ヲ計ッデヤッタナラバ、今日ノ運賃ニ依ッテ旅客荷物共ニ、マダ／＼低減セラル、ト云フコトハ數字ノ上ニ明カナ次第ニシテ、而シテ又是カラ先キ乗替其他總テノ便宜上ヤッタナラバ、公衆ノ便宜上ヨリシテ、鐵道ノ統一ト云フコトハ、詳シク申サヌデモ明白ナ次第デアルト私ハ信ズル、又設備上營業上ノ關係カラ申シテ見タナ

ラバ、運轉ノ資金ト云ヒ、豫備の品物ト云ヒ、即チ車軸或ハ石炭、總テノモノ、設備、枕木、是等ノモノヲ設備シテ置ク、即チ備ヘテ置クト豫備的ノ行動ニ於テハ、是ヲ統一ニシテヤ、タナハ廉ク出來ル、然ルニ今日私設ノ會社ヲ見レバ、從來一項目ト雖モ此豫算ノ一項目毎ニ、必ズ豫備費ト云フモノヲ置カヌケレバナラヌト云フヤウナモノデア、然ルニ之ヲ統一シタナラバ、全體ニ對シテ豫備費ノ一項ヲ置ケバ、間ニ合フノデア、即チ統一シタナラバ、僅カナモノヲ以テ此ノ豫備ニ對スルコトガ出來ルト云フヤウナ、經濟上ノ關係モアル、又ソレノ此聯絡モ諸種ノ會社ニ跨ッテ居ルガタメニ、種々ナル手數ガ多ク、ソレ等ニ付イテモ此經濟上ノ營業上ノ經濟ガ取ルト云フコトハ、統一スレバ出來ルト云フコトハ明カナル次第デアルト信ズル、而シテ是ヲ今日ノ上ニ取ツテ統一スルニ付イテハ、私設會社即チ「トラス」の會社ニ任シテヤラシメ方宜イカ、日本ノ國有ニシテ是ヲヤッタ方宜イカト云フタナラバ、無論是ヲ國有ニセヌケレバナラヌデア、現ニ亞米利加ノ鐵道「トラス」ノ如キモ亞米利加ノ社會ニ非常ナ權力ヲ有ツテ、是ガ事實專横ニナツテ居ルカラ、今日ハ是ニ對シテ即チ是等ノ運輸營業ニ對シテ、法律ヲ以テ政府ガ其賃銀等ヲ指定スルノ權利ヲ握リタイト云フテ心配シテ居ル今日デア、日本ノ鐵道ハ或ハ官有ニシテ見テモ、國有ニシテ見テモ、統一ハ付カヌデヤナイカ、即チ淺野君ノ言ハル、ガ如ク、本洲ノ九州北海道、四國ノ如キモノハ別々ニナツテ居ルカラ、是等ハ港灣ト相次グデヤラナケレバナラヌト云フコトヲ言ハレタガ、實ニ御尤ナル議論デア、其御尤ナル議論ハ私ハ國有ノ必要ニ採擇シタイ積リデア、ナセカト言ヘバ此港灣ノ如キモノハ、將來國庫ノ中カラ經營スルカ、然ラサレバ國庫ノ補助ヲ仰イデ、是ヲ完成シナケレバナラヌデア、必ズ港灣ノ如キモノハ國家的ノ性質ヲ帶ビテ居ルモノデア、鐵道ノ經營ト相待タヌケレバナラヌト云フコトハ、即チ國ノ事業トシテ相待ツテ往カケレバナラヌト云フコトガ、必要デアルト言ハレタ、然ルニ一方ハ私設ニ任セテ一方ハ國家デアラナケレバナラヌト云フコトハ跋論デア、寧ろ鐵道ヲ國有ニシテ、而シテ此大運輸ノ便利ヲ計ルガタメニハ、港灣ノ如キモノハ國家ハ是ニ對シテ多大ナル力ヲ盡シ、以テ其完成ヲ計ルト云フコトハ、共ニ相俟ツ必要ニシテ、淺野君ノ反對論ハ即チ私ノ此國有論ヲ主張スル理由ノ一端トシテ、辯明致シテ置キマス、是ノ如ク私ハ國有論ノ必要ヲ申シマシテ、尙第二ノ人權問題デアリマスケレドモ、私ハ簡單ニ是ハヨリ大ナル公益ノタメニ——公益ト雖モ即チ憲法保障ノ下ニ於テ、是ヲ執ルト云フコトニ少シモ憲法違反デナイト云フコトダケヲ申上ゲテ、ソレデ宜カラウト思ヒマス、第三ニ公債ノコトニ付イテ種々言ハレマシタケレドモ、是ハ此ノ公債ニ對シテノ償還方法、此ニツニ付イテ申サレマシタガ、此公債ヲ發行スルト云フノハ、資金ヲ吸收スルモノデア、資金ヲ吸收スルモノト、或モノヲ公債ニ代フルノトハ、非常ナ差ノアルモノデア、市場ヨリシテ資金ヲ吸收スルコトハ、新ナルコトデアハナイデア、是ハ便利上資金ヲ公債ト云フ形式ヲ渡スデアアリマスカラシテ、是ハ決シテ新ナル資金ノ吸收デアハナイデア、且又是ニ對シテハ財源ガアルト云フコトデアアルカラシテ、比較的確實ナルモノデア、決シテ惡シキ性質ノモノデアハナイ、借金ノ殖エルト云フコトハ、言葉云ヘバ決シテ宜シイコトデアハナイケレドモ、我國ノ將來發展スル上ニ取ツテハ、必要ナル借金ハソナニ恐ロシクナイモノデア、ドンノヤツデ宜シイ、必要ナルモノハ其様ナケチナコトヲ考ヘル必要ナイ、此公債ヲ發行スル上ニ

取ツテハ、是ノ如キモノデア、而シテ加藤君ノ如キハ公債ノ下落ニ付イテ、非常ニ御心配ナサルガ、私ハ公債ノ下落スルニハ二ツノ場合ガアラウト思フ、其一ツハ我國ノ信用ガナクナツタ場合、其次ハ其國ガ新事業ガ勃興シテ段々即チ若イ國トナツテ、發達ノ見込ガアル即チ公債ヲ發行シテ有益ナル事業ニ着手スル時代、此二ツノ場合デア、即チツレカラ言ヘバ日本ノ國ガ不安ノ念ニ驅ラレテ、日本ノ公債ガ下落スルヤウナ御考ハ、是ハ實ニチヨシ當時代ノ人ノ考デ、加藤君ニモ似合ハヌト私ハ信ズル、又第二ノ經濟上カラ言ツテモ、即チ新事業ガ勃興スルタメニ、利率算定上カラ公債ガドシク變ツテ往クコトナラバ、實ニ日本ハ事業ノ多イ國トナツテ益々進ム力アル國ニナルカラ、是又御心配ニハ及バヌ、又豫算ノ上ニ取ツテ違算ガアルデアハナイカト云フ、エライ御心配デア、私ノ見ル處デア、四億六千七百萬圓ノ公債、此鐵道ノ買收金ノ内此二十倍ノ算定額ヲ以テ、當該ラヌ鐵道會社ノ買上ゲ代金ハ、一番惡ルイ所ノ兩號ニ依ツテモ四千何百萬圓、又乙號ニ依ツテモ二千何百萬圓、尙又是ニ對シテ收入未定ト稱スベキ北海道鐵道、若クハ博多灣ノ鐵道ヲ控除シテモ、四億何千萬圓ハ收支償フテ將來益見込アル會社デア、新タニ或一派ノ人ミガ是等ノ會社ヲ後買上ゲテ貰ヘバ、價ガ上グルアラウト云フヤウナ御考デ反對スル人サヘモアル位ニ聞及フ、然ラバ四億圓以上ノ買收價格ハ、將來ニ於テ益見込アルコトハ明白ナル處ノ買收資金デア、此内ニ於テ其一位位ハドウデアアラウトモ、九分何厘ハ餘程將來見込ガアルコトニナレバ、左程御心配ナサルニハ及バヌト思フ、要スルニ度々進歩黨ノ即チ憲政本黨ノ諸君ノ御議論ノ如クデアレバ、從來ノ御議論カラ見テモ、日本ハ疾ウニ亡ビテ居ラナケレバナラヌ、併ナガラ日本ノ此四十年間ノ仕事ハ、サウ云フ御議論ガアルニモ拘ラズ、或ハ少々ノ手違ヒガアルニモ拘ラズ、駭キトシテ進歩シテ來タカラシテ、將來ノ事ニ付イテモ諸君ノ御斷定ノ如キコトデアレバ、日本ハ疾ウニ亡國スルデアリマセウガ、併シ今日ハ此通りニナツテ居リマスカラ、將來モ亦以上ノ如キ理由ニ依ツテ、諸君ノ御心配ニ及ブマイト思ヒマスカラ、此際ニ於テ御悔悟アッデ然レベキト私ハ存ジマス

○委員長長谷場純孝君 今日ハ午前ノ討論ハ是デ止メマシテ暫ク休憩致シマス、而シテ午後一時ニ討論會ヲ續ケマス

午前十一時四十二分休憩

午後一時五分開議

○委員長長谷場純孝君 今日ハ午前ニ引キ續キ國有鐵道法案ノ討論ニ移リマス、早速君

○早速整爾君 私ハ矢張此國有法案ニ對シテ、反對意見ヲ有シテ居ル、午前ノ會ニ於テ同論者カラ段々反對ノ意見ヲ陳述ニタツタコトデアリマスカラ、又此後ニモ御演說ニナラ方ガ澤山アリマスカラ、私ハ極ク簡單ニ反對ノ主意ダケヲ申述ヘマス、私ハ此鐵道ノ國有ト云フコトヲ、強イデ今日ニ於テ行ハナケレバナラヌ理由ヲ認メナイガタメニ、先日來委員會ニ於キマシテ、質問ニ對スル政府側ノ答辯ヲ詳シク聞キマシタ、今日ニ至リマシテ尙此國有ニシナケレバナラヌト云フ適切ナル理由ヲヨク認メナイデアリマス、財政上非常困難ガアルニ拘ハラズ、又一方デハ私權蹂躪ナド、云フ說ガアルニ拘ハラズ、今日

唯今急速ニ此國有ヲ斷行シナケレバナラヌ理由ハ何レニアラカト云フニ付キマシテハ、國有ハ鐵道ノ管理統一ノためニ必要アルト云フ御答デアッテ、強イテ是ヲ急速ニ行ハナケレバナラヌト云フ適切ナル理由ハ、詳細ニ御陳辯ニナラヌ、私共ハドウシテモ今日急速ニ是ヲ斷行シナケレバナラヌト云フ理由ヲ認ムルコトが出来ナイノデアリマス、管理統一ハ必要アルト云フ御説、又軍事上ニ於テハ國有ガ必要アルト云フ御説、鐵道ノ機能ヲ發起スル上ニ於キマシテハ國有ガ必要アルト云フ御説、是等ハ一應御尤モデゴザイマスケレドモ、同論者ガ申シタ如ク、管理統一ト云フコトハ、無論是ヲ或點マデハ國有ニスレバ便利アルケレドモ、矢張是ガ政府ノ專賣デハナイ政府ノ特長デハナイ、丁度先日來ノイロノ議員間ノ質問ニアリマシタ如ク、私共ハ或點マデハ民設鐵道デ政府ノ遣方一ツデ、此統一ヲ圖ルコトが出来ル、軍事上ニ於キマシテモ、其軍事上ノ要求ト云フモノハ、國有ニスナケレバ全然是ヲ充タスコトが出来ナイト云フ譯デハナイ、陸軍大臣ノ説明ノ如キモ、私ハ殆ド要領ヲ得ルニ苦ム、是非國有ガ必要アルト云フ御説デアッテケレドモ、ドウモ其區別ガ分ラヌ、成程軍事上ニ於テ是ヲ國有ニスレバ兎ニ角宜イト云フヤウナ、簡單ナル理由ハ多少是ヲ認メルコトが出来マスケレドモ、絕對ニ且國有ニスナケレバ、ドウシテイケナイト云フ適切ナル理由ハナイ、民有デアリト雖モ政府ノ統轄宜キヲ得レバ、政府ハ法律ニ於テ鐵道ニ對シテ絕對ノ命令權ヲ持ッテ居ル、是ハ私ノ同論者モ申シマシタガ、其法律ノ活用一ツニ依レバ、軍事上ニ於テモ——殊ニ軍事上ト云フ非常ナ場合ニハ、ドンナ事デモ出來マスカラ、國有ニスナケレバ此要求ヲ充タスコトが出来ナイト云フ御議論ハ、矢張私共是ヲ認メルコトが出来マセヌ、元來此國家ノ要求ハ政府デハアリマセヌ、國家ノ要求ト云フモノハ、公衆ノ便利ノためニ經濟上ノ發展ヲ圖ルためニ、鐵道ノ普及ヲ圖リ、鐵道ノ擴張ヲ圖ルト云フコトが今日ニ於ケル國家ノ要求デアリマス、而シテ是ハ官民共ニ年來是ヲ主義トシテ來タル鐵道ノ上ニ於ケル主義ト云フモノガアレバ、國有トカ民有トカ云フモノデハナイノデ、鐵道ノ普及改良ト云フコトが主義デアッタと思フ、此普及擴張ヲ圖ルト云フ上ニ付イテハ、私ノ考デハ國有トスルト云フコトハ寧ろ國家ノ要求ヲ充タスニ適シナイと思フ、是ハ同論者カラ申シマシタ如ク、日本ノ財政ニ鑑ミマシテ、是カラ先キ未成線豫定線ヲ急速ニ政府ガ敷設シテ往キ、國家ノ要求ニ基イテ鐵道ノ普及改良ヲ圖ルト云フコトハ、ドウモ今日マデノ財政ノ事情トシテ、容易ニ其目的ヲ達スルコトが出来マイ、論ヨリ證據今日ニ至ル此政府ノ鐵道事業ニ對シテナサル、トコロノ成績ヲ伺フテ見デモ、國家ガ要求スル如ク十分ニ鐵道ヲ普及セシメ擴張セシムルト云フコトが、容易ニ出來ナイデアアラウト思ヒマス、鐵道ノ機能ヲ發揮セシムルト云フコトハ、此國有ト云フコトヲ唱ヘル議論ノ一ツノ理由ニナッテ居リマス、ケレドモ是モ矢張私ハ寧ろ民設ニ御一任ニナッテ方ガ、此機能ヲ發揮セシムル上ニ付イテ便利デハナイカト思ッテ居リマス、營業費ノ事ニ付イテ先程御説明モアリマシタケレドモ、吾々ハ矢張此官設ノ鐵道ト云フモノハ、私設ノ鐵道ニ比シテ營業ノ經費ト云フモノガ、非常ニ多額ヲ要スルト云フコトヲ信ジテ居ル者デアリマス、由來御役人ノ商賣ト云フモノハ、不經濟ノ代名詞ニナッテ居ル、杓子定規ニ規則ナドニ係ハル結果、ドウシテモ民間ノ事業ノヤウニ簡便ニ營業費ヲ餘計使ハナイヤウニシテ、營業スルト云フコトハ今日マデノ實際ニ照シテ、容易ニ行ハルベキモノデナイ、是カラ後ハソレヲヤル

ト仰シヤルカ知ラヌガ、實際私共ガ計算シテ見マスルト、ドウシテモサウ云フ風ニ往カナイト思フ、仕事振ノ上カラ、既往現在ノ實狀ガサウデゴザイマスル以上ハ、是カラ後ハ營業費ヲ餘計掛ケナイヤウニシテ、サウシテ鐵道ノ機能ヲ發揮スルヤウニ、非常ニ勉強スルト仰シヤデモ、私共ハソレヲ信ズルコトが出来ナイ、ソレヨリモ寧ろ民間ニ一任シテ置イテ、民間ノ私設會社ハ今日ニ於テモ、或ハ外資ヲ輸入スルナドト云フ計畫モシテ、段々改良モシ、擴張モスルト云フコトヲ、大ニ企ツテ居ル、是ニ對シテ政府ガ獎勵ヲスルト云フ方針ヲ執ラレタナラバ、所謂本來ノ主義デアルトコロノ鐵道ノ普及、鐵道ノ擴張、ソレカラ鐵道ノ機能ヲ發揮セシムルト云フコトモ、却テ政府ガヤルヨリモ、完全ニ出來ラデアラウ、現ニ着手中ノ官設鐵道線路ガ、是カラ十年モ經タナケレバ出來ナイト云フヤウナモノガ澤山アリマスケレドモ、是等モ私設會社ニ御一任ニナレバ、政府ノ豫定ノ期限ヨリカマダ早ク是ヲ竣功セシムルコトが出来ラデアラウト思ヒマス、國家ノ要求、即チ此普及改良ト云フ要求ヲ充タスニハ、私ハ政府ノ事業ヨリカ民間ノ事業ノ方ガ速ニ運ブト云フコトヲ事實ニ於テ信ズルノデアリマス、此點ニ付イテハ寧ろ官設鐵道ヲ拂下ゲテ、民間ノ經營ニ一任スル方ガ適當デアルト云フ議論ガ起ルカモ知レヌガ、政府ガ十分ニ獎勵シ、又法律ノ上ニ於テ監督ヲ施セバ、統一ト云フコトモ或點マデハ圖ルコトが出来ル、ソレカラ賃錢ヲ廉クスル、是モ私ハ出來ナイコトデナイと思フ、私ノ考デハ現在ニ於テ官設鐵道ノ賃錢ト云フモノハ、私設鐵道ノ賃錢ヨリ比較的高イ、此高イト云フモノニ照ラシテモ、將來廉クスルト言ハル、トコロノ政府委員ノ御説明ヲ信ズルコトハ出來マセヌ、若シ賃錢ヲ廉クスルト云フコトニナリマス、是ハ政府ノ方デハ、必ズ國庫ニ利益ヲスルト云フコトが無クナッテシマウ、所謂非常ナ損失ヲ受ケナケレバナラヌト云フ場合ニナル、イロノく表ナド統計ガ示シデアリマスケレドモ、此事ニ付イテハ餘リ議論ヲシテハ、或ハ水掛論ニナルガ、私ノ信ズル所則チ現在ノ事態ニ照ラシテ考ヘマスルト、此賃錢ノ低減ナド、云フコトモ、官設ニスレバ行ハレト云フコトハ嘘デアラウト思フノデアリマス、ソレ故ニ政府ガ十分ニ此私設鐵道會社ニ對スル監督ヲ嚴重ニシ、改良スベキハ改良セシメ、設備ノ上ニ付イテモイロノく命令ヲスル權利ガアルカラ、此權利ヲ活用スル曉ニハ、統一モ圖レルシ鐵道ノ機能ヲ發揮セシムルト云フコトモ出來ル、イロノくナ方法デ所謂私ノ年來ノ主義タル、國家ノ要求タルトコロノ此鐵道ノ普及改良ノ目的ヲ達スルコトが出来ルノデアリマスカラ、強イテ今日ニ限ッテ急速ニ此國有ヲ斷行シナケレバナラヌ時期デアル、此時期ヲ失ッテハイカナイト云フヤウナ、非常ニ切迫シタル說ヲ唱ヘル必要ト云フモノヲ私ハ少シモ認メルコトが出来マセヌ、私立會社デハドウシテモ統一ガ出來ナイト云フデモ、遺リ方ニ依ッテ出來ルト云フコトハ午前ノ會デ加藤君ガ述べラレマシタ如ク、英吉利ニ於テモ亞米利加ニ於テモ、矢張私設會社デアリナガラ、一ツノ統一スベキ機關ヲ設ケテ、立派ニ統一ト云フコトヲヤッテ居ル、國有デナケレバナラナイト云フコトノ理由ト云フモノハ、此點ニ於テモ矢張認メルコトが出来ナイノデアリマス、斯様ナル次第デ鐵道ヲ國有ニスルト云フコトハ、私ハ年來ノ主義タル此普及改良ヲ圖ルト云フ主義ニ反シテ居ル、要スルニ將來ニ對シテハ、日本ノ鐵道事業ノ發達ト云フモノヲ阻害スルコトニナル、折角日本ノ鐵道ガ段々改良セラレ、段々擴張セラレツ、アル今日、政府ガ是ヲ國有トスルためニ、其發達ト云フモノヲ阻害セラレハシナイカト云フコトヲ切ニ憂ヘテ居リマス、

國有ト云フモノニシナケレバナラヌコトハ、私が先刻カラ申シタ通りニ、其理由ニ苦シムケレドモ、今朝同論者ハハ、獨逸ノ「ピスマルク」ノ政略ヲ學ンデハナイカト云フヤウナ説ヲ唱ヘタノデアリマスケレドモ、若シソレデアルト、私ハ般ノ鑑遠カラズ、伊太利ニアリト云フコトヲ言ハント欲スルノデアアル、獨逸ハ鐵道ヲ國有ニシテ、非常ナ成績ヲ擧ゲタト云フコトヲ學ンデ、而シテ伊太利ガ之ヲ國有ニシテ失敗シタト云フコトハ、矢張吾々モ此歷史上ノ事實ニ於テ少シハ考ヘナケレバナラヌコトデアアル、私が感シマスノハ獨逸ノ鐵血宰相スラモ此法權ヲ濫用シテ、人民ノ既得權ヲ害シタデモ鐵道ヲ國有ニスルト云フ政策ヲ取ツタノデアリナ、此點ニ付イテハいろ／＼ノ方法ヲ以テ私設鐵道ヲ所有シテ居ル者等ト協定ヲ經テ上デ、鐵道ヲ買上ゲル道ヲ取ツタノデアアル、今同西園寺内閣ガ提出シタ鐵道國有法案ノ如キ強制的ニ私設鐵道ヲ壓迫シテ、買收スル方法ハ鐵血宰相モ取ラナカッタノデアリマス、私設鐵道會社ニ補助ヲ與ヘ、其鐵道事業ヲ是迄獎勵シ來ツテ、稍見込ガ立ツテ、是カラ後ハ各私設會社トモ利益ノ増進ヲ見ルデアラウト云フ見込ノ立ツタ今日ニ當ツテ、突然政府ガ取上ゲルコト云フコトハ、或人ガ云ツタ如ク、丁度獵ヲスル犬ガ己ガ取ツタモノヲ主人カラ奪ハレルト同ジコトデアアル、斯ウ云フヤリ方ハ西園寺内閣ガ學ブトコロノ鐵血宰相ト雖モシナカッタト云フコトヲ明言スル、之ヲ要スルニ政府デナケレバ鐵道ヲ統一スルコトガ出來ナイ、軍事上ノ要求ヲ滿タスコトガ出來ナイ、鐵道ノ技能ヲ發揮スルコトモ出來ナイト云フヤウナ稅ヲ稱ヘルノハ、即チ所謂政府万能主義ニ傾イタ説デアアル、私ノ考カラスルト、一體府縣デアレバ何事モ出來ルト云フノガ間違ッテ居ル、政府デナケレバ此鐵道ノ經營ガ出來ナイト云フノガ、万能主義ノ弊ニ陷ツタモノデアアル、財政ノコトニ付イテハ今朝同論者カラ詳シク申述ベマシタ通り、公債ノ價格ヲ下落セシムル、從テ經濟上ニ變動ヲ與ヘ、財政ノ紊亂ノ端ヲ開ク、之ハ無論疑フ要シナイノデアアル、此危險ヲ犯シタデモ今日此鐵道ヲ國有ニスナケレバナラヌト云フコトヲ唱フルノハ、所謂冒險的ノ議論ヲ唱ヘルモノデアルト斷言セザルヲ得ナイ、今朝私ノ同論者ハ西園寺首相ガ此鐵道ヲ國有ト云フコトハ、日本本來ノ主義デアアルカト云フガ如キ説明ヲナシタニ對シテ、是ハ脫線シタ議論デアルト云フタコトヲ申シマシタガ、實ニ此國有法案ハ全體カ「レール」ガ外レテ居ルト思フノデアアル「レール」ヲ外レタル危險ナル法案デアラウト思フ、此故ニ立憲的ノ標榜セラレタル西園寺内閣ニ對シテハ兎ニ角斯ノ如キ法案振廻シテ、ドウシテモ之ヲ實行シナケレバナラヌト云フヤウナ非ヲ逐ケルニ類スル如キ政略ヲ施スノハ止メテ、寧ロ日本年來ノ主義ニ基イテ鐵道ノ普及擴張目下ノ要求ニ應ズルト云フコトニ盡力セラル、ノガ至當ノコトデアラウト思ヒマスカラ、此案ニ對シテ反對ノ意見ヲ有シテ居ルノデアリマス、同論者モ外ニアルコトデアリマスカラ、簡單ニ是丈ノ理由ヲ以テ本案ニ賛成ヲスルコトガ出來ナイト云フ意ヲ明ニシテ置キマス

○岡田治衛武君 本員ハ本案ニ賛成ノ一人デアリマシテ、極メテ簡單ニ賛成ノ意見ヲ述ベヤウト思ヒマス、此意見ヲ述ブル前ニ於テ、政府ノ意思ヲ確メテ置キタイコトガアル、本員ハ昨日遞信次官ニ質問ヲ發シテ御答ガアリマシタガ、其御答ハ本員ノ見ルトコロデハ遞信省ノ御答デアルカト思フ、幸ヒ此處ニ遞信大臣ガ出席ニナツテ居ルモノデアリマスカラ、政府ヲ代表シテ明カニ答ヘテ貰ヒタイ、ソレハ本案ノ第十八條「買收ヲ受クヘキ會社カ兼業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ兼業ニ屬スル資産ヲ併セテ買收スルコトヲ得」是ハ昨日日本員ガ御尋ラシテ、遞信次官ノ答ニハ運送ノ性質ヲ持ツテ居ラヌトコロノ兼業ハ買ハナイノデアルト云フコトデアアルガ、斯ウ云フコトハ明カデアアルカドウカ、詰リ平タク言ハバ、目下北海道炭礦鐵道ノ如キ鐵道ハ買フガ、炭礦部ハ買ハナイト云フコトデアアル、本案ガ成立シタナラバ、今後ニ於テモ同ジク運送業ニ屬スル性質ノモノノ外ハ買ハナイコトデアアルカ否ヤ、之ヲ明カニ答ヘテ貰ヒタイ

○遞信大臣山縣伊三郎君 唯今岡田君ノ御質問デアリマスガ、是ハ法律ノ精神ガソコニアルデアラウト思ヒマス、兼業ニ屬スルモノデ、已ムヲ得ズ聯絡上是ヲ買收シナケレバナラヌト云フヤウナモノハ、無論此中ニ這入りマスガ、炭礦部ノ如キハ、買收スルノ必要ヲ認メテ居リマセヌ、是ハ買收シマセヌカラ明ニ御答シテ置キマス

○岡田治衛武君 後來デモ運送機關ノ性質ヲ帶ビタモノハ買フガ、其外ノモノハ買ハナイノデスカ

○遞信大臣山縣伊三郎君 左様デアリマス

○岡田治衛武君 ソレデ満足致シマシタ、是ヨリ聊カ賛成ノ意見ヲ述ベマスガ、贊成ノ意見ハ既ニ同論者ヨリ詳シク述ベラレマシタガ、私ハ時間ヲ惜ンデ諸君ニ累ヲ及ボサナイヤウニ致シマスカラ、簡單ニ自分ノ信ズルコトヲ述ベマシテ、聊カ反對論者ノ誤解ニ向ツテ、反駁ヲ加ヘテ置カウト思フ、抑、鐵道國有ト云フコトニ付イテハ數多ノ贊否ノ議論モアリマスガ、之ヲ連ネテ申スト、運輸機關ノ統一ヲ期スルノデアツテ、其運輸機關ノ統一カラ生レテ出ル所ノ重モナル利益ハ、如何ナルモノデアアル、其重モナルモノハ軍事上ニ多大ノ利便ヲ得ル、第二ハ百貨ヲ運送力ヲ敏活ニスル、第二ハ運賃ノ平均低廉ヲ保ツコト、第四ガ農工商產業ノ發達ヲ續進スルコト、從來アルトコロノ利益ハ此四ツデアアル、此以外ニハ數多ノ利益モアリマセウガ、ソレハ主タル利益デハナイ、即チ隨伴シテ起ル利益デアルト本員ハ信ジテ居ル、而シテ此四個ノ利益ニ對シテ、反對論者ノ御議論ヲ承ルト云フト、ドウモ反對ノ議論ガ薄弱ダ、抑モ本員ノ如キハ、八年以來カラ鐵道國有ヲ主張シタモノデアツテ、八年以前、同士共ニ世ノ中ニ向ツテ、鐵道國有ト云フコトヲ公ケニシタコトモアル、又之ニ向ツテ甲論、乙駁、種々議論ヲ闘ハシテ、十分ニモ練リ盡シタアリマスカラ、諸君ハ世ノ中ニ於テモ、ドチラガ利益デアルト云フコトハ、銘々ニ御判斷ニアルコトデアラウ、凡ソ此事物ハ或ハ一利アル事ニハ一害モ伴フコトモアリマセウガ、併シ此鐵道國有反對論者ニ、唯今本員ガ申シタ、四個ノ利益ニ對シテ、是ニ打勝ツ利益ガアルカト云フコトヲ承リタイノデアアル、前日來委員會ニ於テモ、種々反對方ノ御議論ガ出テ、之ヲ傾聽スルニ私ガ年來ノ主張タル、鐵道國有論ヲ枉ゲテ、陣門ニ降服シナケレバナラヌカト、竊ニ恐懼ヲ抱イテ居タルニ、何ゾ圖ラン此四個ノ利益ニ對シテ優サルトコロハ一ツモナク、論ゼラル、トコロノ鐵道國有反對者ハ斯ウデアアル、國有ハ宜シクナイ、國有ハ宜シクナイト言ツタラ、ソレデアリハ民有ハ宜イカト云フト、民有ハ宜カラウト思フト、云フダケノ話デ、國有ニ優ル民有ノ利益ヲ擧ゲテ論ゼラレタノデアリナデアアル、是ハ甚ダ本員ノ敬服シナイトコロデアアル、大ニ敬服スル積デアリマシタガ、惜イ哉反對論者ニハ敬服スルコトガ出來ナイノデ、此處ニ立ツテ贊成ノ理由ヲ述ベル次第デアアル、而シテ先刻既ニ反對論者ノ淺野君ガ、此鐵道國有主義「ピスマルク」主義カラ出タ、或ハ獨國政略ニ倣フノナイカト云フコトデアリマシタ、本員ハ「ピスマルク」デアロウガ、

獨國デアラウガ、伊太利デアラウガ因縁ハ如何ナル處カラ出ルトモ、日本ノ國情ガ國有トシテ利益アル以上ハ、是ニ向ッテ、立法部ガ鐵道國有トスルニ於テ、何ノ不都合モナイ、淺野君ハ悉ク書ヲ信ゼバ書ナキニ如カズト述ベラレタガ、淺野君自カラ書ニ辭フテ居ルノデナイカト本員ハ信ズルノデアル、サウ云フ論辯ハ費スニ及バヌ、次ニ反對論者ハ斯ウ云フコトヲ言フ、直通ハ宜イニ違ヒナイガ、民有ニシテ置イテモ宜カラウト云フ、既ニ直通ガ宜イナレバ、之ヲ統一シタナラバ、尙直通ガ行ハレル、サウシテ頭ノ違ヒタ株主社長其他ノ營業者ヲ個々別々ニ置イテ、ソレデ直通ガ宜イガ、統一ハ困ルト云フノハ何ノコトヤラ分ラナイ、モウ一ツハ、統一モ宜カラウガ、統一スルナラバ、民有ニシテ置イテ統一スルガ宜イ、是ハ識者ヲ待タズシテ明カナル論デアアル、民有デ官線ガ統一ガ出來ルモノデナイ、會社ヲ個々別々ニシテ置ケバ、鐵道其者デスラ、既ニ利害ヲ異ニスルモノデアアル、例ヘバ關西鐵道ト官線ノ如キ、數年以前競争シタ、是ハ有ツタカ無イカト云フ事實ハ別問題トシテ、隨分利害ノ上デハ競争モスル、競争モナシ得ル、個々銘々ノ會社ヲ以テ、統一ヲ強ユル、何ノコトヤラ分ラヌ、木ニ縁デ魚ヲ求ムルト、蓋シ同ジコトデアルト本員ハ信ズル、ソレカラ民業ノ發達シタモノヲ、之ヲ奪ヒ取ルハ、不都合デアアル、斯ウ云フコトガ屢々反對論者ノ議論ニアル、蓋シ反對論者ハ、民有ノ事業ト仰シヤルガ、此鐵道ノ民有事業ニ從事シテ居ル今ノ人間ハ、何人ガ統計ヲ御調ベニナツタカ否ヤ、本員ガ信ズルトコロニ依レバ、今三十二會社ノ假ニ株主ヲ舉ゲテ見ルト、五十万足ラズデアアル、而シテ是ニ向ッテ衣食シテ居ル役人ヲ舉ゲテモ、百万ニ足ラナイ、然ルニ鐵道國有ナルモノガ立派ニ行ハレテ、果シテ本員ノ信ズル如ク、唯今述べタ四箇ノ利益、即チ軍事上ノ利便ヲ得ルコト、百貨ノ運送力ノ敏活、運賃ノ低廉、農工商ノ産業ノ發達促進、斯ウ云フ利益ガ行ハレル、此利益ヲ蒙ルコトコロノモノハ、即チ吾々五千万ノ同胞ガ蒙ルノデアル、五千万ノ同胞ガ利益ヲ蒙ルノモノ、僅カ百万ニ足ラナイ營業者ノ業務ヲ官有ニシタカラト云ッテ、民業ヲ奪フカライケナイトハ、餘リ自由ニ屬スルト謂ハナケレバナラヌ、諸君是ハ一例デアアルガ、此節東京市ノ市街鐵道ヤ、何カハ市有ニシタラ宜カラウト云フ議論ガ起ツタ、市有ノ善惡ハ暫ク別トシテ、何ノタメニ市有ヲ論ズルカト云フト、詰リ統一シタ方ガ宜カラウ、市民ニ利益ガアルト云フ議論カラ、大分高クナツデ居ル、或ル新聞屋何カ喋々ト論ジテ居ル、而シテ其新聞屋共ハ、何ヲ言フカト云フト、反對ニ鐵道國有ハイケナイ、汽車鐵道ノ統一ハイケナイ、電氣鐵道ノ統一ハ宜イ、何ゾ矛盾ノ甚ダシキヤ、是ノ如キコトハ本員ガ敬服スルコトガ出來ナイノデアル、ソレカラ又淺野君デアツタカ、誰デアツタカ、反對論者ガ現内閣ノ腕前デハ、ドウモ此國有ヲ任シテ營業ヲサセテ置クノハ、甚ダ懸念ニ堪ヘヌト云フ御説モアツタ、是ハドウモ甚ダ面白イ議論、一向敬服ヲシナイ、ナセカト云フト、鐵道國有ハ、現内閣ニ鐵道ヲ獻上スルノデヤナイ、國民ノ代表者タル、國家ノ代表者タル政府ニ同ッテ、此事業ヲ經營サセルノデアル、又内閣ト云フモノガ諸君ノ御懸念ノ通、サウ長イ壽命ノモノデナイ、甚ダ失敬ノヤウダケレドモ、今マデノ經歷ニ據ルト、二年カ三年、乃至四年デ倒レシマウ、現内閣モ蓋シ倒レルカ、ソレハ請合ハレナイ、ダカラ反對論者ハ現内閣ニ向ッテ、鐵道ヲ獻納スルヤウナ心ハ宜シク斷念スルガ宜シイ、若シ現内閣ガ鐵道國有ヲヤツテ、ソレデ經營ガマズイト思フナラバ、須ク宜シク加藤内閣ヲ作ル

カ、淺野内閣ヲ作ルガ宜シイ、然リ而シテ淺野陽吉君ハ、遞信大臣デゴザルト、ヤツテ見タラバドウデアアル、其時ニ當テ、淺野陽吉君ガ立派ニ吾々ガ望ムガ如キ經營ヲシタナラバ、本員ハ謹シテ頌德表ヲ呈スルノデアル、隨テ本員ハ其當局大臣ガ、加藤君デアラウガ、淺野君デアラウガ、ソレナコトハ構イヤシナイ、内閣ハ何人モ取り得ラル、ノデアアル、宜シク御安心ナサツテ然ルベキコト、思フ、ソレカラ又監督ノ上ニ付イテ、彼是御議論ガアリマスガ、民有ナルモノハ、株主重役ガ社長ヲ選定スルコトハ、諸君御承知デアアル、反對論者モ是ニハ異論ハアリマス、國會議員ガ選定スルノデナイ、國民ガ選定スルノデナイ、樞機ヲ握ルモノハ、悉ク株主デアアル、一二ノ人種ガ統一シテ、之ヲ監督スルノデアアルガ、國有トナツタラ、國ノ政府ハ何人ガ監督スルカト云ヘバ、茲ニ列席ノ諸君ヲ始メトシテ、三百有餘ノ立憲的代議士ガ監督スルノデヤ、若シモ主宰者ニ於テ過チガアルカ、之ヲ經營スル者ニ於テ怠ルト云フコトニ至ッデハ、嚴重ニ鞭撻ヲ加ヘレバ、大臣ト雖モ、吾々ノ意思ニ從フノデアアル、蓋シ反對論者ハ大臣ト云ヘバ非常ニエライ、恐ロシイト思フテ居ルカラ、ソレナコトガ起ル、ナニ大臣デアツテモ隨分叱リ飛ばシテ然ルベキデアアルカラ、是以テ安心シテ然ルベキデアアル、ソレカラ次ニ法律ヲ以テ之ヲ抑ヘルノガ違法デナイカト云フ御議論ガアルガ、是モ左様ニハ本員ハ思ヘヌ、何モ半開時代ニ於テ、一大臣ガ下シタコロノ命令ヲ、今日憲法の議政ヲヤルトコロノ此代議士ガ、完全ナル法律ヲ定メテ以テ是ニ從ハシムルノガ、即チ代議政ノ權能デアアル、別段ヤカマシク之ヲ言フニ及バヌト本員ハ思フ、ソレカラ又公債ノコトヲ非常ニ御議論ニナルガ、是ハ銘々ノ見ル所ヲ以テ、其趣ヲ異ニスルコトハ申スニ及バヌコトデアリマス、本員ハ是モ左様ニハ氣遣ハナイ、ナセカト云フト、今日市場ニ賣買シテ居ッテ、浮株ナド賣買スルノハ、是ハ相場師デアアル、事實ニ於テ世襲トモシ、或ハ七朱八朱ノ利益ヲ、今日ノ鐵道株券ニ依ッテ、甘シシテ之ヲ永久ニ持續シヤウト云フ考ヲ持ッテ居ルトコロノ株主ガ多イノデアアル、華族、富豪、就中三菱ノ如キハ、非常ニ多數ノ株ヲ持ッテ居ル、斯様ナ人達ハ、是ニ向ッテ今日得ルトコロノ利率ニ適當スルトコロノ公債ニ換エテ、チットモ怨ミトハ思ハナイト本員ハ信ジテ居ル、イヤソレハ公債トナツタラ、賣ッテシマフニ違ヒナイト云フガ、是ハ一向「ロヂツク」ニ合ハナイコトデアアル、公債ナラ賣ル、株券ナラ賣ラヌデ持ッテ居ルト云フ論理ガアルモノデナイ、ドウシテモ賣ルモノナラバ株券デモ賣ル、賣ラナイモノナラバ公債ニ變ッテモ賣ラヌ、是等ハ杞憂ニ屬スルコトダ、之ヲ綜合スルニ、既ニ唯今申述べタ如ク、四箇ノ——本員ガ信ズルトコロノ四箇ノ利益ニ對シテ、此利益ニ優ルトコロノ害ガアルナラハ、謹シテ承ハルガ、今日マデノ反對論者ノ議論ヲ傾聽スルノニ、決シテ此議論ヲ打破ルコトハ出來ナイト確信致シマスカラ、諸君ガ既ニ贊成ノ演説ガアツタニ拘ハラズ、幾分ヲ茲ニ補フテ、以テ諸君ノ贊成ヲ請フ、願クハ區々タル誤解論ニ傾聽セズシテ、宜シク正論ニ御贊成アラントラ、偏ニ希望致シマス

○恆松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成贊成)ノ聲起ル

○委員長長谷場純孝君 マダ討論終結ハ早イト思ヒマス、金岡君

○金岡又左衛門君 唯今岡田君ハ、何カ物ニ感シラレタト見エマシテ、非常ニ憤慨サレテ、案ヲ拍ッテ、非常ナル語氣デ、本案贊成ノ演説ヲサレマシタ、而シテ其演説ノ趣

旨ヲ拜聽スルト、殆ド其贊成ノ理由ハ、何レニアルカト云フコトハ、遺憾ナガラ發見スル
コトガ出來ナイ、(岡田治衛武君「四箇ノ利益」ト呼フ)此四個ノ利益ナルモノハ、君
ニ向テ反問スルガ、今日此儘私設鐵道ニヤラシテ置イテ何等ノ遺憾ガアルカ、宜シク
今日ノ儘其監督ヲ嚴シシ、改良ヲ施シタナラバ、遺憾ナク其事ヲ實行スルコトガ出來
ルノデアアル、而シテ是ヲナサザルノハ、全ク當局ノ無能デアアル、敢テ成ラザルニアラズ、爲サ
ザルナリ、是ノ如キ怠慢ニ依ッテ、嚴重ナル監督ヲナスベキコトヲ、ナサズモノニ對シテハ
ソレヲ以テ本案通過ノ理由トスルニ至ッテハ、實ニ驚クノ外ハナイノデアリマス、而シテ私
ハ先ツ第一ニ本案ニ反對シマス理由ハ、本案ヲ通過スル曉ニハ、我國ノ鐵道ノ發達ヲ
阻礙スルト云フコトが第一ノ理由デアアル、何が故ニ、本案通過ノ以上ハ、鐵道ノ發達ヲ
妨害スルカト云フニ、諸君、今日マデ我國ノ鐵道ノ發達ハ、何ニ依ッテ發達シタカ、獨リ
政府ノ力ナルノミナラズ、是ハ民間ニ自由ニ許シテ、即チ民間ト政府ト兩々相立ッテ、鐵
道ノ經營ヲナシタガ故ニ、今日ノ如ク交通ノ上ニ便利ヲ與ヘタノデアアル、若モ之ヲ現内
閣ノ言ハレル如ク、我國ノ鐵道政策ハ、夙ニ國有主義デアッタナラバ、今日ノ如ク現在
ノ發達ハ見ルコトガ出來ナイノデアアル、即チ財政ノ上ニ於テ許サズノデアアル、政府ニ一任
シテアッタナラバ、實ニ今日ノ鐵道ノ哩數ト云フモノハ、僅々タルモノデアアル、今日ノ賜ハ
實ニ民設ノ賜デアアルト云フコトヲ斷言シテ憚カラヌ、ドウシテモ是ハ民設ト云ヒ、官設ト
云ヒ、ソレハ其時ニ依ッテ宜シキヲ得ルモノデアッテ、或ハ經濟上ノ狀況ニ依リマシテハ、
之ヲ獨リ政府ニ委ネルコトガ出來ズシテ、民間ノ有力者ニヤラセルコトハ、申スマデモナ
ク、鐵道發達ノ上ニ於テ、是ハ執ルベキ手段デアアル、即チ今日マデハ是ノ如ク、兩々相
立ッテ民官共ニ進ンデ往クト云フ方針デ往タカラ、今日ノ發達ヲ來シタノデアリマス、デ
アリマスカラ、今日マデノ發達ハ、私ハ確カニ此民設ト云フモノニ向ッテ多大ノ感謝ノ意
ヲ表スルモノデアアル、西園寺侯爵ノ言ハル、如ク我國ノ鐵道方針ト云フモノガ、獨リ之
ヲ官設ニ止メルモノデアアルト云フ方針デ、明治ノ初年カラ今日マデ實行シテ來タナラバ、
實ニ是ガタメニ、我國ノ産業ノ發達ヲ害スルコトハ、多大ナルモノデアッテ信ズルモノデ
アリマス、而シテ今後はヲ官設ニシタナラバ、如何ナルコトニナルカト申シマスレバ、既ニ
諸君モ此政府カラ出シタコロノ參考書ニ據ッテ知ラルル如ク、既ニ今日マデ現在ノ工
事、竣工ノ期限ヲ調べ、則チ私設鐵道ニ依ッテ經營サレタ線路ニシテ、既ニ政府カラ本
免許狀ヲ下付シタ線路ト云フモノハ、殆ド十幾ツノ線路ガアルノデアアル、而シテ此線路ハ
將來ドウナルカト云ヘバ、是ハ悉ク私設鐵道ヲ許サズシテ、政府ガ經營スルト云フコトニ政
府ガ經營スルト云フコトニナルノデアアルカラ、此九州鐵道、山陽鐵道、甲武鐵道、若クハ
中國鐵道、岩越鐵道ニ依ッテヤラスト云フテ、本免許狀ヲ得タコロノ線路ハ、悉ク中止
サレルノデアアル、則チ政府ガ先達ッテカラ申ス如ク、是等ノモノニ對シテハ、政府ハ相當ノ調査
ヲシテ、或時期ニ於テ、此事ハ何トカセヌケレバナラスト云フ位ノコトデアッテ、是ハ私設鐵
道會社ヲ買收スルガタメニ本免許狀ヲ得タ鐵道ハ、忽チ中止サレテ幾十年後ニアラザレ
バ、此線路ノ完成ヲ見ルコトガ出來ヌト云フ結果ニナルノデアリマス、又ソレノミナラズ、既
ニ此豫定線ニ當ルトコロノ、各必要ノ線路ハ、先達デモ申シタ如ク、富山直江津間ノ線
路ノ如キハ、僅カ七十哩バカリデ、此金額ガ千三百萬圓——此千三百萬圓ノ工事ヲ竣
工スルノニ、政府ガ八箇年ノ歲月ヲ經テ、始メテ之ヲ竣工スルト云フ計畫デアアル、是ノ

如キ必要ナル線路——東北、關西、北陸、謂ハバ日本海ノ一面ヲ貫聯シケレバナラス、
極ク必要ナル此急務中ノ急務ナル線路デアアルニ拘ハラズ、政府ハ言葉ヲ財政ノ計畫ニ
委ネテ、サウシテ悠々緩々、八箇年ノ歲月ヲ經テ、始メテ之ヲ完成スルト云フ計畫デア
ル、政府ハ既ニ戰後ノ經營ノ第一着手トシテ、運輸交通ノ便ヲ計ルニアリト言ヒナガ
ラ、是ノ如キ必要ナル線路——若シ此線路ガ完成セザレバ、日本ノ鐵道ト云フモノハ
片輪ノモノデアアル、是ノ如キ必要ナル一日モ忽セニスルコトノ出來ナイ線路ニ向ッテ、八
箇年乃至十箇年ノ星霜ヲ經テ後ニ、是ヲ始メテ計畫スル、既ニ今日自由自在ニ完成
シテ居ルトコロノ既成線ヲ買上ケルト云フノハ、何事デアアルカ、政府ハ事ノ緩急前後ヲ
誤ッタモノデアアル、宜シク緩ニヤルベキ事ヲ先キニシ、先キニスベキ事ヲ後ニシタト云フコトハ
全ク政府ハ此鐵道政策ヲ誤ッテ、サウシテ政府ハ口ニハ鐵道ノ發達ヲ必要デアルト言ヒ
ナガラ、却テ鐵道ノ進運ヲ阻礙スルモノト信スルノデアリマス、是ガ私が第一ニ本案ニ反
對ヲ表スル理由ノ一ツデアリマス、其次ハ我國ノ今日ノ財政ノ現狀カラ反對ヲ表スルノ
デアリマス、三十九年度ノ我國ノ歲計豫算ヲ見マスルト、確カニ八千餘萬圓ノ歲入缺
陷ヲ來シテ居ルノデアリマス、是ハ實ニ驚クベキコトデアアル、悲ムベキコトデアアル、一時ノ戰
争ニ要シタ費用ノタメニ、此缺陷ガ生ジタト云フナラバ、ソレハ一時ノモノデアアルガ、此三
十九年度ノ八千餘萬圓ノ缺陷ハ、永久ニ互ルトコロノ將來五七年ノ間マデハ繼續サレ
テ、缺陷ヲ生ズルモノデアアルト云フコトハ、諸君ノ知ラル、通リデアラウト思フ、此八千
圓ノ中一千二百萬圓ハ事業公債デアアルカラ、大藏大臣ノ口調ニ依ッテ、財源ヲ生ム公
債デアアルシテモ、残り六千八百萬圓ハ何等ノ生産ガ起ルノデモナク、普通ノ歲出缺陷
ニ屬スルノデアアル、六千八百萬圓ハ全ク目當ノナイ借錢デアアル、六千八百萬圓ハ今ノ
所六千八百萬圓デアアルガ、イロ／＼諸君ガ建議ヲ出サレテ、其建議ガ出ル度ニ金ガ要
ルノデアリマス、四十年、四十一年度、ニナレバ歲出ノ増加ト云フモノハ、實ニ免ルベ
カラザルコトデアリマスカラ、吾輩ノ信ズル所ニ依レバ、四十年以後ハ不生産的ノ歲
入ノ缺陷ハ必ズ七八千萬圓ニ上ルコトハ十分デアルト思フ、是ノ如キ財政ノ有様デ、
年々少ナクモ歲入不足八千萬圓ヲ告ルトコロノ悲ムベキ警戒スベキ狀態デアアルノデアアル、
是ノ如キ場合ニ當ッテ、政府ハ一面ニ於テ不急ナルコロノ鐵道ヲ買上ケ、ソレニ數億
ノ金ヲ投ズルト云フコトニナリマスレバ、此結果トシテ我國將來ノ財政ニ驚クベキ恐慌ヲ
起スト云フコトハ、是ヲ斷ズルニ敢テ躊躇シナイ所デアリマス、本案ニ贊成ノ諸君ハ私ノ
說ニ對シテソレハ間違デアアル、是ハ單ニ株式會社ノ株券ト公債ト引替ヘルマデ、アッテ、
株主ノ多數ハ豪商若クハ華族ノ徒デアアルカラ、公債ガ一時ニ市場ニ出ルト云フヤウナコ
トハナイト論ズルノデアリマスガ、吾輩ノ見ルトコロデハ決シテ然ラズ、株主ハ成程豪商デ
アリマセウ、華族デアリマセウ、併ナガラ是ガ一タビ公債ニナッテ、年五朱ノ利子ヲ安全ニ
渡スト云フコトニナルト、株其物ニ發展スル餘力ガナイカラ、溢レル程賣リ放ツノハ當然
デアアル、是ガ株券デアレバ、會社ガ發達スレバ從ッテ株券ガ騰貴スルカラ、株ニ多クノ望
ヲ屬シテ長ク持ッテ居ルガ、公債デハサウハイイカナイ、是ハ株券デモ公債デモ同ジコトデア
ルト論ズルガ如キハ、抱腹絶倒ニ堪ヘヌノデアリマス、是ニ對スル所ノ望ハ全ク絶望ダカ
ラ、公債ガ市場ニ溢レルト云フコトハ當然デアアル、數ノ上ヨリモ十萬ヨリ百萬、百萬ヨリ
千萬ガ多イノデアアルカラ、供給ガ多クナッテ需用ガ少ナク、莫大ノ公債ガ發行サレルノデ

アルカラ、是ガタメニ公債ニ影響ヲ及ボシ、遂ニ我國ノ財政ノ根底ヲ破壊スルト云フコト
ニ至ルコトハ、何人モ異論ハナキコトと思フ、斯様ナ譯デアリマスカラ、私ハ現在ノ我國
ノ財政ノ現況ニ於テ、本案ハ否決スベキモノト信ズル、其次ニ第三ノ點ハ法律擁護ト
云フコトニ付イテ、反對セザルヲ得ヌト思フデアリマス、贊成論者ハ一面ニ於テハ、日
本ノ鐵道ニハ斯様々々ノ約束ガアルケレドモ、其時ノ情況ニ依ツテ、ソレハ政府ガ特約ヲ
シタノデアル、併ナガラ今日ニ於テ國ノ都合ノ上デ、約束ヲ變ヘルコトハ何等ノ差支モナ
イ、即チ專賣煙草ノ例ヲ引イテ、決シテ政府ハ法律違反デナイト論ズルデアリマス、
成程一應サウデアアルカモ知レナイ、併ナガラ是モ靜ニ考ヘテ見レバ、苟モ政府ガ是ノ事
業ニ對シテ、是ノ許可ヲ與ヘルト云フテ安心ヲサセ、保障ヲシタ以上ハ國家ノタメニ必
要已ムベカラザル事ガ起ツテ、國家ノ存立ニ關シ、國家ノ生命ニ關スルトコロノ重大ノ
事件ガ湧イテ來タナラバ、ソレハ國家ニハ替ヘラレナイカラ、先キノ約束ヲ變ヘルコトモア
リマセウ併ナガラソレハ事態ニモ依ルコトデス、若シモ今日ニ於テ鐵道會社ト如何ナル約
束ガアツデモ、是ヲ無視シテ買ハナケレバ國家ノ存立ヲ危クスル、國家ノ生命ヲ保ツコトガ
出來ヌト云フ場合デアアルナラバ格別ダガ、今日ハ如何デアアルカ、即チ國家ノ存立ニ對シ
テ何カ危急ノコトガアリマスカ、論者ハ一國ノ政策ト云フコト、一國ノ存立ト云フコト
ヲ混同シタコロカラ、斯様ナコトヲ申サレノデ、苟モ國家ガ其者ニ法律ヲ以テ保障ヲ
與ヘタ以上ハ、重大ナル問題ニ逢着シタ時デナケレバ——實ニ國家ノ存立ニ影響ヲ及
ボス程ノ非常ノ場合ヲ除ク外ハ、輕キシク是ヲ朝ニ許シテ夕ニ取消スト云フ如キコト
ハ、斷シテナスベキコトデナイト信ズルデアリマス、斯様ナ譯デアリマスノミナラズ、我國ハ
既ニ先刻モ諸君ノ言ハレル通り、眼ヲ小サクシテ居テハイカヌ、今デハ世界共通デドン
くヤラナケレバナラヌト云フ、如何ニモ其通りデアル、苟モ外資ヲ輸入シテ此經濟界ナ
ルモノハ、世界ノ舞臺ニ立ツテ活動シヤウト云フ場合ニハ、是ノ如キ國家ガ屬々方針ヲ
變ヘ、朝ニ與ヘテ夕ニ奪フト云フ如キコトヲ致シタナラバ、誰ガ即チ我國ヲ信用シテ、我
國ニ資本ヲ卸ス者ガアリマセウカ、我國ノ資本家ニ向ツテ、金ヲ貸ス者ハ無イコトニナル、
實ニ日本程亂暴ナル國ハナイト云フノデ、折角外資輸入ノ話ガ仕掛ケテアツデモ、外國
ニ此事情ガ聞ヘタナラバ、是ニ向ツテ必ズ拒絕ノコトヲ申込ムコトハ明カデアル、ソレデア
リマスカラ是ノ如キ政策ヲ國ノ存立ニ關スル大問題ト混同シテ、其權利ヲ奪フデモ一向
ニ差支ナイナドト云フヤウナ態度ヲ裝フニ至ツデハ、實ニ將來ノ國家ヲ思ハザルトコロノ暴
論デアルト思フ、私ハ第三ノ理由ヲ以テ法律ノ威信ヲ保護スルタメニ、斷シテ本案ニ反
對スルデアリマス、是ノ如クニ理由ニ依ツテ本案ノ否決ヲ望ム次第デアリマス

○小田貫一君 私ハ敢テ議論ヲ致スモノデハゴザイマセウガ、私ノ意思ノアルトコロヲ簡
短ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、本案ニ付キマシテ政府ノ説明及反對ノ議論、贊成ノ
議論總テ謹聽ヲ致シマシテゴザイマスガ、各御議論ハ御希望ノ好イ御議論ハゴザイマ
ス、併ナガラ唯私ガ茲デ私ノ意思ヲ申上ゲテ置キタイト云フコトハ、此鐵道國有法案ナ
ルモノハ一般運輸ノ用ニ供スル鐵道ハ、凡ソ國ノ所有トスト云フ、此第一條ガ眼目ニ
ナツテ居ルデアル、反對ノ御議論ヲ伺ヘバ、免角第二條ノ三十一會社ヲ買フト云フ方
ガ主ニナツテ居ルヤウニ聞エル、是ハ少シク御注意ガ足ラヌデアリカ知ラヌト思フ、即チ
日本鐵道政策ハ今日ノ如ク私有、官有ト相錯雜シテ居ルモノヲ許スカ、國有ニスルカ、

私有ニスルカ、此根本ヲ極メルノガ眼目デアル、所デ御議論ヲ伺ヘバ、三十二會社ニ就
イテ、イロ／＼アルケレドモ、官設ノモノヲ私有ニスルト云フ御議論モ餘リ聞カナイヤウデ
アル、サリトテ未成線ノコトヲイロ／＼御話ニナルガ、未成線ハ官設ヲ頻リニ早ク政府カ
ラヤツデ與レ／＼ト云フ建議案ガ出ルケレドモ、之ヲ私立會社ニ許スト云フ建議案ハ
出ナイト云フヤウナ狀況デアツテ殆ド日本其者ノ國ノ大方針ト云フコトニハ未ダ御目ガ
届カナイノデハナイカト考ヘラレバヤウナコトヲ屢々聞ク、然シ西園寺內閣ハ茲ニ鐵道ヲ國
有ニスルト云フ、此根本ヲ決定セシメルトコロノ案ヲ出シタデアリマス、吾ハ豫テ或理
想ヲ持ツテ居ルデアル、或一種ノ主張ヲ持ツテ居ルデアル、然ルトコロデ此根本的法案
ヲ出サレタト云フコトニ付イテハ、積年待ツテ居タモノデアツテ、双手ヲ舉ゲテ贊成セザル
ヲ得ヌデアリマス、即チ主張上ニ於テ、性質ニ於テ、之ニ反對スルト云フコトハ出來ナ
イデアリマス、所デ若シ所謂理想ヲ以テ此鐵道國有ヲ主張スルカト云ヘバ、之ヲ文章
ニ現ハセバ、即チ第一條ノ「鐵道ハ凡テ國ノ所有トス」ト云フ下ニ以テ往ツテ、無賃ヲ
乗セ、無賃ヲ運搬スルト云フ位マデニシナケレバナラヌ性質ノモノト信シテ居ルデアリマ
ス、併ナガラ今日ノ狀態トシテハ社會ノ有様トシテ許サナイカラシテ、隨ツテ經濟ノ論
ガ出テ、財政ノ論ガ起ル、又今日現在ヤツテ居ルトコロノ官設私設相比較シテ利害得
失問題ガ出ルデアラウト思ヒマス、吾ハ利害得失ハ第二ニ置クベキモノ、經濟財政モ
第二ニ置イテ、第一ニハ此鐵道其物ノ性質ガ、國ノ即チ國民一般ノ共用トナルベキモ
ノデアルト深信シテ居ルデアリマス、ソレデ今日ノ狀態ヲ以テ所謂利害得失比較上
カラ考ヘテ見マシタコロデモ、成程一旦私權トシテ各會社ニ與ヘタモノヲ之ヲ法律デ
云々ト云フガ、是ハ法律デ與ヘテヤツタデアル、即チ國民ノ或者ニ對シテ、利益ヲ得ル
コトノ特殊ナル權利ヲ授ケテ、今日マデ置イテ遣ツタデアルカラシテ、其國民ニ與ヘタ權
利ヲ取ルノハ勝手デアル、又之ガ性質上ナスベキモノデアル、所デ經濟上ノ方カラ言フタ
トコロガ、之モ悲觀說ノ側カラ言ヘバ、種々ナル議論モ出マセウ、併ナガラ餘リ悲觀過ギ
テ坊主ニナツデモ困ルデアル、餘リ落膽ニ過ギテモイケンイ、斯ウ思ヒマスガ、是ハ先ヅ
大藏大臣ノ言フトコロノ即チ公債ガ騰ルトカ、下ガルトカ、種々ナル議論ヲ伺ジテ見ル中
ニ、大藏大臣ノ經濟論ガ一番好イ私ハ信ズルデアリマス、ソレデ強テ穿ツテ意地惡ル
ク私ガ反對論ヲ聞ケバ、兎角私立會社ノ株主ヲ保護スル側ノ意味ヲ以テ反對ヲ主張
セラルノデアアルマイカト考ヘルマデニ實ハ此私立會社其者ヲ宜イト御論ニナルヤウニ
考ヘマス、是ハ私ガ議論ヲスレバ長クナリマスシ、又種々ノ冷評モゴザイマスカレドモ、彼
是ト長クモナツテ御厭ヒデモゴザイマセウシ、又唯私ガ本案ニ贊成ヲスルトコロノ意思ヲ述
ベテ置ケバ足リルト思ヒマスカラ、是デ私ハ止メテ置キマス

○恆松隆慶君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 諸君ニ御諮リ致シマスガ、委員長ハ討論ヲ今十分間バカリ
續ケタイト思ヒマスカレドモ、既ニ討論終結ノ動議ガ出テ、多數ノ贊成者ガアル以上ハ、
諸君御諮リヲシテ採決シナケレバナリマセウ、併シマニ三人位討論シテハドウデスカ

(「モウ少シ」ト呼フ者又「採決」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ採決致シマス、討論終結ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請

ヒマス

起立者 多數

○委員長長谷場純孝君 多數デゴザイマス、遺憾ナカラ討論ハ終結サレマシタ——ド
ウカ傍聴ノ諸君ハ少シ御退キラ願ヒマス——ソレデハ本案ニ付イテ採決ヲ致シマス、鐵
道國有法案ノ原案ノ全部ニ付イテ採決ヲ致シマス、即チ之ニ反對ノ諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

起立者 少數

○委員長長谷場純孝君 少數デゴザイマス、念ノタメニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○委員長長谷場純孝君 多數デゴザイマス、大多數ヲ以テ本案ハ決セラレマシタ、ソ
レデ茲ニ於テ別ニ此案ニハ討論ニ掛カル前ニ、御諮リ致シテ置キマシタ通り、唯今モ宣
言致シマシタ通、即チ鐵道國有法案ノ全部ニ付イテ贊否ヲ決セラレマシタ、サウシテ此
案ノ逐條ニ付イテハドナタモ修正案ガ出マヘヌ、ソレデ最早逐條審議ヲ開ク必要ハナイ
ト認メマス、ソレデ差支ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ議會ヲ省略シテ確定シタモノト認メテ宜シウゴザイマ
スカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ鐵道國有法案ハ是デ確定致シマス——ソレト此委
員會ニ同ジク付託セラレテ居リマストコロノ、京釜鐵道買収案全部ヲ議題ニ供シマス

○菊池武徳君 本員ハ京釜鐵道ノコトニ付イテテヨット政府委員ニ質問シテ置キタイ
コトガアル、ソレハ京釜鐵道ヲ官設ニスルト同ジ筆法ヲ以テ京義線、京元線、ノ如キモ
官設ニスルト云フ御見込デアリマセウカ、其邊ヲ承ッテ置キタイ

○政府委員仲小路廉君 京義線ハ既ニ官設デアリマス、京元線ハマダ出來テ居リマ
セヌ

○菊池武徳君 總テ朝鮮ノ鐵道ハ皆官設デアル積リデアリマスカ、則チ一般ノ鐵道ハ
國ノ所有タルベシト云フ筆法カラ、是カラ以後ノ朝鮮ノ鐵道ヲ經營ナサル積リデスカ

○政府委員仲小路廉君 其事ハマダ極マッテ居リマセヌ、去リナガラ 此法案ノ趣意カ
ラ申シマスレバ、重ナ鐵道ハ蓋シ同一ノコトデアラウト存ジマス

(「採決々々」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 京釜鐵道買収法案ハ一ノ御異議ガナイト認メマスカラ、滿
場一致ト認メマス、是又逐條審議議會省略シテ確定シタモノト認メテ宜シウゴザイマス
カ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ其通り確定致シマス——鐵道國有法案及京釜鐵
道買収法案ニ對スル特別委員會ハ是デ終了致シマシタ——諸君ハ連日御盡力下サレ

マシテ誠ニ感謝シマス

(拍手起ル)

午後二時十四分散會

衆議院鐵道國有法案外一件委員會會議錄第五回正課

頁段	行	誤	正	頁段	行	誤	正
二六	下	一	建設費ノ中	三四	上	七	一式
二三	一	カラ積立	改良費ノ中				異式
			ラ支出				

明治三十九年三月十五日印刷

明治三十九年三月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局